京城日報
二十三日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

◎王督軍へ援助要求

北京政府は四川の形勢重大なるを認め湖北督軍王占元氏に對し呉光新氏を援助し一個旅團の兵を輸送せん事を要求したり(北京特電)

◎紛亂當時の露都 勞兵會首相更迭を要求

ストックホルム來電=コルニロフ將軍の謀叛絶頂に達せる際ケレンスキー氏は冬宮にて實際上捕虜の身となり勞働者により指揮せられたる過激黨員の武裝せる暴徒横行し勞兵會は直に平和を恢復すべしとの決議を通過せしめんと試み且つケレンスキー氏を辭職せしめ之に代ろに元農務卿チエリノツフ氏を總理に任命せん事を強請せりと(桑港電報)

◎露都の秩序回復

コルニロフ將軍の反亂鎭定せるを以て其の節行へる非常配置を撤廢し過般設置せる露都總督を廢止しペトログラード守備司令官を再設しプルコウニコフ大佐を之に補任したり(露都電報)

◎露國三大臣辭任

露國臨時政府は内務卿アウクセンチエフ、勞働卿スコベレフ、司法卿ザルードニイ三氏の辭任を聽許したり(露都電報)

◎憲法議會開會準備

憲法制定議會開會準備は露國全土を通じて大々的に開始せられ既に特別地方選擧委員の設置を見たるもの十九州に達したり(露都電報)

◎駐日露大使館武官

露國海軍長官高級副官ツーデロフ氏は少將に陞任し日本駐紮大使館附武官を命ぜられたり(露都電報)

◎露國民主會議召集

コルニロフ將軍の謀叛等最近の事變に鑑み確乎たる革命的權力の確立を補けんため勞兵會主張の下に民主會議召集せられ各派民主團體代表者約八百名招待を受け出席すべし(露都電報)

◎全露民主大會延期

二十五日を以て開かるべき勞兵會の主唱に係る全露民主々義大會は或は延期せらるべし(露都電報)

◎造船工罷業解決近し

太平洋沿岸に於ける諸造船所職工の同盟罷工は米國政府の造船計畫を阻害する虞れありとし米國船舶管理局長ハーレー氏は勞働者側擁護委員ブラックモン氏を伴ひ同方面に出發せり同問題は確實に解決すべき曙光を認めたるものと解せらる(華盛頓電報)

◎講和再提議は無用 米政府法王へ希望す

米國政府は羅馬法王に對し公電を發し此上重ねて講和提議をせざるべき旨を以てせり而して戰爭は更に一箇年間繼續すべしと豫期せらる(桑港電報)

◎ジヨルダン公使

支那駐紮英國公使ジヨルダン氏は二十三日午後三時神戸發西比利亞丸にて上海經由北京へ向ひたり(大阪特電)

◎英佛より造船註文來る

英佛兩國より本邦へ向け造船材料は先方より供給する條件にて造船引受の交渉入込める模樣にて大阪某會社にては佛國と交渉中なり(大阪特電)

□皇靈祭御次第

二十四日は秋季皇靈祭に付き宮中皇靈殿に於て午前九時より御殿の裝飾を奉仕し九時三十分より在京各皇族殿下以下各親任官及び勅任官、著床、開扉獻饌の後ち九條掌典長祝詞を奏し次で天皇陛下出御御親拜あらせられ終りて、皇后陛下出御あり御親拜あらせられ引續き各皇族殿下御親拜あり次で各員の親拜ある筈なり(東京特電)

◎支那銀禁輸問題

北京來電、支那銀塊禁輸出一日國務會議に於て決定せる模樣なり(大阪特電)

◎銀塊五十五片

倫敦銀塊遂に五十五片となれり(大阪特電)

◎政務總監歸任

山縣政務總監は遠藤秘書官を隨へ二十三日朝連絡船新羅丸にて釜山着午前十時三十分發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

◎松浦少將一行

來鮮中の東京砲兵工廠技術課長松浦陸軍少將、會計課長前川陸軍一等主計正一行は二十三日釜山出港の對馬丸にて歸東したり(釜山特電)

◎佐々木長官出迎

慶尚南道長官佐々木藤太郎氏は山縣政務總監出迎の爲め廿二日午後五時十五分釜山着廿三日朝同總監を出迎へ同列車にて晉州へ歸任せり(釜山特電)

◎古川代議士來鮮

代議士古川清氏は廿二日夜入港關釜連絡船對馬丸にて釜山上陸同夜大池に投宿廿三日午前十時三十分發列車にて京城に向ふ(釜山特電)

◎三島鮮銀理事

朝鮮銀行理事三島太郎氏は二十三日朝連絡船新羅丸にて釜山着午前十時三十分發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

◎政務總監歸任

二十一日午前東京驛發汽車にて歸任の途に着ける山縣政務總監は豫定の通り遠藤秘書官を隨へ二十三日午後九時南大門驛着汽車にて歸任す可し

◎牛皮共賣慫慂

現下慶尚乾皮の市價は百斤六十圓乃至八十圓の間を往來しつゝある實際の取引價格は五六十圓見當に過ぎざる地多きが忠淸南道にては之を以て仲買商人の利益を壟斷するに因るとなし其の弊害を除去して販賣の利益を保護増進せんが爲め鹽乾牛皮の共同販賣を實行す可く其の要項を附記して既に管内各郡守に宛て其れ〳〵通達的通牒を發せり、同道の成績良好ならむには其他の生産各道に於ても亦追時此方針を採用するに至らん

◎京畿林野調査

京畿道にては管内楊州、水原、始興、振威、高陽、富川の各郡地域内に於て近く林野整理調査を實施すべく該地域内に林野其他土地調査未了の土地を所有又は占有する者は所定の申告書を所轄面長に提出すべき事は略報せし通りなるが今般右林野整理調査の目的は地籍圖に登載せる土地の區域以外の林野其の他の土地全部に亙り所有又は縁故別に一筆毎に調査し林野調査簿及び林野圖を作製し各其の權利を明確ならしめむとするに在りと而して右調査費用は土地所有者及び縁故者の負擔とし申告と同時に面積割を以つて醵出するものとし一町歩宛約二十錢の見込にして面積を增す每に一定の遞減率に依り醵出するものなり因に右申告書の提出期限は始興、高陽、富川の三郡は九月三十日限り楊州、水原、振威の三郡は十月十五日限りとして前記期日迄に申告せざる時は不利益なる事あるべく尚調査の際は一般關係者は書類を携帶して實地に立會し又は地主總代に委任さるも差支へなしと

◎物價騰貴す

京城重要商品八月中の市價に付鮮銀の調査を聞くに之れを前月に比し朝鮮生産品は騰貴十品保合一品低落七品となり輸移入品は騰貴十品保合三品低落一品を示し大勢は依然として騰貴の傾向を改めず例によつて其の騰落の品目並に状況を略記すれば左の如し

□朝鮮生産品

▲騰貴十品 精米、大豆、明太、木綿、繭、粉類、木炭、朝鮮紙、牛皮、牛脂
▲保合一品 石材
▲低落七品 玄米、大麥、小麥、小豆、鷄卵、[illegible]

□輸移入品

▲騰貴十品 麥粉、精糖、醬油、綿糸、和金巾、支那綿、石油、マツチ、金巾、洋紙
▲保合三品 清酒、麥酒、石炭
▲低一品 打綿

而して明治四十三年七月の物價指數を一〇〇とすれば本年八月の物價は二四一、三と騰り又前年同月は一二八、六四なり

▲騰貴各品 ▲精米●期米は豊作及び厄日不穩等のため低落せしも正米は依然品薄にて五十錢方騰貴せり▲大豆●内地相場強調にて大連も高値を示し朝鮮豆の大連に仕向けらるゝものあり前月來二十三圓廿錢を示せり▲明太●前月一度下落せしも漸次返せり▲木綿●綿糸の高値につれ本品は産地の廻著少なく少しく騰貴せり▲繭●時期に非ざるも諸物價の騰貴に連れ昂騰を唱へたり▲薪及び木炭●物價の高値に伴ひ一塊二圓の値上りを見たり▲朝鮮紙●著しき値上りを見たり▲牛皮●前月まで軟調なりしも露國軍靴殊にクローム用の需要を來したるあり百十九圓内外に昂騰せり▲粗糠●滿洲行き頗る高値に多數の手合せあり遂に▲會社側の賣止めとなり市價は底値より四五十錢上りとなれり▲石油●内地市場の強調につれ歩調を一にして値上りを見たり▲綿絲布●和金巾●八月上旬を以て最高値段に達せしも米四圍の事情にて急轉直下し月内下押しを以て終れるも月通し平均相場は依然前月より高し▲石油●容器商に連れ一兩十錢高となれり▲マツチ●品拂底と先高見越しにて値上りを見たり▲金巾●洋紙●米鐵禁輸と品薄にて引續き強調なり▲洋紙●内地の上げに伴ひ前月に引續き更に著しき騰貴を見たり

◎低落及び保合

▲大小麥●入荷多からざるも内地註文途絶へ賣行きわるく相場自然軟調なり▲松捲材●貸車の不廻りと産地品薄のため入荷漸減し一方建築界は到る所旺盛にて賣行きよきも値段は持合の内に越月せり▲清酒●内地好氣配にて値段は強含みなり

◎鮮滿の東拓債

第三回東拓債券の鮮滿に於ける應募申込みは鮮銀本支店扱ひ二十二日の所約十萬圓なりしが二十三廿四の休日を空過し締切りの二十五日には[illegible]の應募を見るべく結局其の應募額は十四五萬圓なるべきかと

◎移民募集締切

東洋拓殖會社にて募集中の第八回移民は來る三十日を以て其の申込期限となし居れるが本年は既報の如く應募者非常に多く一千五十戸の募集に對し一千四五百戸の應募を見るべき狀勢にあり尚ほ同社にては近く移民の採否銓衡に取掛る筈なり

◎三島理事歸京

内地出向中なりし鮮銀理事三島太郎氏は二十三日午後九時南大門着列車にて歸京す

◎朝鮮藥學大會

第五回朝鮮藥學大會は二十三日午後一時より大正六年度朝鮮藥學總會を兼ねて商業會議所樓上に開催せり

◎西北學生大運動會

西北學生親睦會にては廿三日午前八時より奬忠壇に於て秋季大運動會を催したるが頗る盛會なりき

□十萬俵の叺 東拓移民のお手柄 鳥山にて 別府生

▲鳥山に下車して鳥渡目を驚ろかすは、同驛前廣場に山積せる堆貨に候、蓋し倉庫の充溢に候▲鳥山新米の走りは此程出せし由なれど、まだ〳〵平澤平野に屬する鳥山米の出荷を見るに時期早し、乃ち驛長に就て其の堆貨の正體を質し候處、叺の名を冠せるだけの内容ある新叺の堆貨に候▲驛前の山積せる堆貨並に倉庫に充溢せるものは叺の山に候、而して二十一日現在の所約十萬俵あり、積出し手待ちの貨車二三輛乃至四幅六千枚乃至八千枚を仁川、沙里院、新義州等に發送するも、出貨依賴引きも切らざると、今秋の出穀期を見込める穀物商の叺の思惑買ひ集めにより、自然叺の堆貨を見るとの事に候▲平澤平野は概して地味宜へ、殊に鳥山方面可なり、而して其の植附米種は殆んど全部内地種に改良され居り、極めて良き良米を産する由に候▲朝鮮に需要する叺は近年まで多く内地に仰ぎゐたるが、當局よりの農家副業獎勵の一として叺の製造を勸獎せし結果、最近朝鮮産の叺は著しく增加致し居り候。▲其朝鮮叺を製造するに、鳥山附近の産業は最適す、何でも先年此地に入れる東拓移民先づ叺の製造を試み、之れを附近の鮮農に傳授せしが最初なりと云ふ、今は農家殆んど叺製織機を据付けざるなく、鳥山叺の名は頗に擧り來り居る模樣に候。▲鮮農一日叺を製すれば普通四十錢内外の收益ある由、副業として頗る有利なりと存じ候、各地に撒布せる東拓移民もかうした風の進路をとれば……必らずしも叺の製造のみに留まらず……朝鮮農事の實地的啓發は著しきもの有之候べき乎。

◎全國穀商と釜山

過日京城に於て開會せし朝鮮穀物商大會の決議に基き來十月五日大阪に於て開會の全國穀物業者大會に朝鮮各道より二名宛の委員を出席せしむる筈なるを以て釜山よりは大池忠助(釜山穀物商組合長)五島甚吉(同組合長)の兩氏出席の筈

◎大阪對鮮貿易

大阪對朝鮮移出入貿易は從來本邦より移出さるゝものは品價頗る多きに比し移入品價僅少にして甚しき不權衡を見たるも移入米關税問題決定後米穀の移入激增したるを以て漸く移出の品價の權衡を保つに至れり就中穀物は大阪に移入さるゝもの最も多く全額約百萬石の八割以上を占め朝鮮内地の穀物相場は大阪市場の氣配によりて定まるものなるも近來船腹不足の結果從來運賃石四十八錢内外のもの最高一圓八九十錢迄騰せるも元來取引商談は指定五倉庫受渡しと相場を以てなすに依り築港より各倉庫に到る艀船賃不動のために採算上意外の不利を見從つて鮮商との取引に後普請排上る事あるを以て之が解決策に關し近く朝鮮商人大阪貿易業者との間に協議をなすべしと(大阪)

◎芙江より

去月十八日問題となり居たる網鍛島救院側に許可の旨發表せられ候以來芙江の人氣は頗に銷沈致し職工等は日每に大田鳥致院若しくは清州に向つて退去するもの相次ぎ小學校兒童の如きも漸時減少の趨勢を示し居申候、爲め有志者間には其の防止策につき協議中なりし由に候ひしが今回漸く道當局よりの援助を得て資本金五萬圓の苗木會社を設立すべく計畫し目下着々株主募集其の他の準備を進めつゝある由に有之候其の内容は未だ判明致さず候へ共忠北の道是として有名なる植林事業を遂行するに就ては當然相當の苗木を要し候へば其の苗木は供給新會社に於て引き受くる事となすの一策として同會社の成立に對しては絶大の援助を與ふる筈に有之候間遠からず實現する事と存候、又最近に於ける新事實としては芙江新金融組合の開設を見申候、資本金は二萬圓にて役員は未決定の由に候へ共遠からず選任を見る事と存候、兎に角資金なる事業の實現は芙江の爲め喜ぶべき現象と存候其の他營業學校も今回大に面目を改め内容を整頓すべく計畫し且つ外形も相當整備の方針の由に有之候殊に近來芙江にて有名なるは本鄕氏の經營に屬する外川里金鑛の發展著しきものにて現今の狀態を持續するに於ては芙江唯一の物產として天下に誇るに足るものあるやに仄聞致し候芙江の爲め喜ばしき事と存候其の他從來の懸案問題の關係上根津嘉一郎氏は芙江方面へ多少の放資をなすべき方針なる由を以て市原應之助氏は目下上京、根津氏と種々打合せ中との事に御座候、先は芙江近況御報知まで(柄生)

◎群山

▲農校生來る● 鹿兒島縣高等農林學校農科學生二十七名は同校教授重松達一郎氏に引率せられ各地視察の途十八日來群市内各精米所、組縫工場、米檢所、農學校、水産學校、臨沃水利組合其他各方面を見學し十九日二番列車にて黄登に向け出發したり▲穀物委員歸群●全鮮穀物商大會列席の爲め群山代表委員として上京滯京中なりし脇村、林、中柴、松場、半田、大平氏等六委員は二十日終列車にて歸群したり▲郡守に記念品●全北沃溝郡守として多年在職郡内の産業啓發に功蹟鮮なからず復た隣接群山府發展の爲めに公私盡瘁努力せられたる功勞に酬ゆる爲め群山府沃溝郡官民より記念品を贈る事に決したるは既報せる如くなるが群山府鮮人有力者老人連の親睦會同の爲めに設けられたる群山九老會よりは純銀製食器一組を記念として贈れり

◎木浦

▲海藻出廻● 木浦海藻組合取扱高七月中並布五一、三七九斤代金一萬五千九十四圓異布六〇、一六一斤代金四萬二千百八十七圓天草七八、六三六斤代金一萬二千四百五十二圓小凝草四九、四三二斤代金三千三百五十圓其他櫻草銀杏草等計二五四、四五八斤代金計七萬三千八百四十二圓にして八月中に於ける取扱は同上合計二八五、九三三斤代金八萬二千二百六圓十一錢也と▲三原技師●臨時産業調査局の囑託を受け支那山東省を中心として調査の爲め去十五日木浦を出發せし木浦模範場木浦支場長三原技師は調査終了歸任は來年二月頃の筈なりと▲大内代議士●國民黨代議士大内暢三氏は去る十八日來木十九日[illegible]調査を爲し二十四五日頃來木一周日滯在の上支那視察の途に就くべし▲精米商會●木浦商業會議所にては十九日午後精米業者を召集し内米檢査に關し其意見を徵し其結果福田會頭木村議員は二十日道廳へ出頭意見を陳述せりと▲小山技師●總督府中央試驗所技師小山一德氏は十八日來木二十日第三朝鮮丸にて多島海に於ける海砂に就て詳細の調査をなす筈なり▲幣原博士●廣島高等師範學校長幣原博士は小河原視學官の東道にて二十日午後四時來木二十一日木浦小學校木浦普通學校及び外人經營の學校を視察し正午發列車にて群山へ向け出發せり▲府尹歸任●元山視察方面の行政事務視察中の木浦橋本府尹は二十日夜歸任せり

人事消息

▲忠州公立普通學校生徒二十六名 二十三日午後仁川へ
▲瀧江田翁氏(佛國大使館附屬武官大尉) 二十三日朝安東方面へ
▲仙波安藏氏(伊太利大使館附步兵少佐) 同上
▲上田直秀氏(鮮銀長春支店長) 二十三日朝入京山本旅館へ
▲津野大佐(陸軍省軍務課長) 二十三日朝退京内地へ
▲今西龍氏(京都帝大助教授) 二十三日朝内地へ
▲吉谷久繼氏(代議士) 二十二日午後奉天へ
▲佐藤恒丸氏(軍醫部長) 二十二日午後滿州へ
▲釜屋六郎氏(總督附武官) 二十二日平壤より内地へ
▲松浦少將 二十二日朝退京
▲小樋元司氏(鎭南浦久原製錬所長) 二十三日
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 二十三日夜内地より入京浦尾へ投宿の筈

彼れ此れ

○聯合諸國は、獨逸の軍國主義を斥くと言乍ら、陰に陽に軍國主義を採用す。傚々相傚ひ、眼々相補ふ、軍國主義を亡すには、軍國主義を以てせざるべからず。畢竟軍國主義の非なるに非ずして、獨逸若くば、普魯西軍國主義の非なる也。

○露國に於て、實際手の附けられざるは、勞兵會と、過激社會黨との跋扈なり。彼等はコルニロフ將軍の反革命動亂の、正に其の絶頂に達せし際の如き、ケレンスキー首相を冬宮に監禁し、其の自由を拘束し、思ふ儘の振舞をなしたり。蓋しケ首相の自殺説の如き、此の間傳はりし誤報ならざるなきかを憶ふ。形勢此の如くんば、ケ首相が板挾みの苦を見るも、遠からざるべく、一個の爲に悲むべし。

○過激社會黨の、其の害毒を流傳する事は、實に虎疫、黒死病以上也。而して彼は人を害するも、之れは國家を害す、其の害や甚大なりと云ふべし。從來社會黨も、勞働黨もなく、且つ出現すべき、兆候をも認めざりし露國の如きも、レニン一派中の兵卒の一人に依て、其の傳染を見るや忽ち燎原の火の如く傳播す、恐るべきよりも、寧ろ進んで誅せざるべからず。

開けて行く間島（三）

醫務及び衛生狀況を視察して

日本の勢力圏＝內鮮人の農業經營＝加藤清正の足跡＝オランカイ民族＝廣大なる沃野

總督府醫院長 芳賀榮次郎氏談

間島に於ける日本の勢力圏は龍井村に横線を引いた線迄であるが近來漸次朝鮮人の移住と共に前進する傾向がある間島が土地豐沃にして

◆灌漑の便 あり且つ地價及び物價の低廉にして朝鮮人無二の樂園である事は前に述べたが內地人も亦眞面目に農業を經營せんとする者は宜しく間島に移住すべしである間島の土地は內鮮人の所有する事は能きぬが事實はいろ〳〵の方法で容易に買收が行はれて

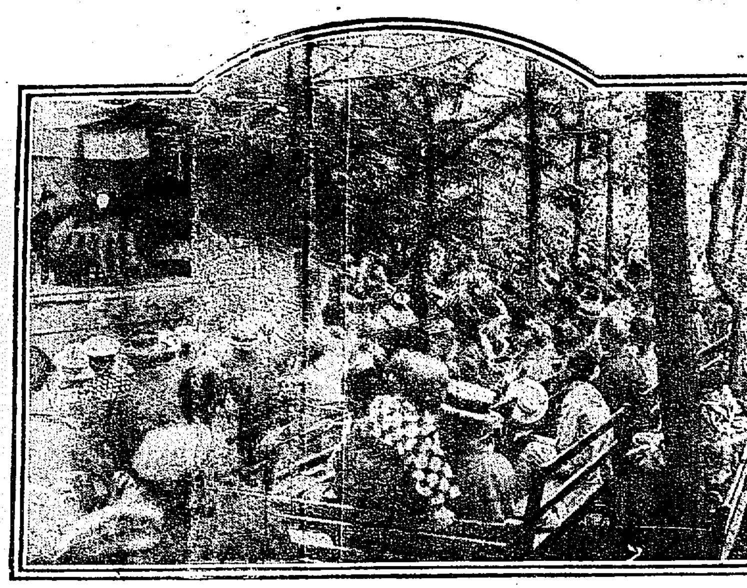
◆永代租借 と云ふやうな形式で借れる事が能きる而して朝鮮人なら二百圓も持つて居れば耕作に充分なる面積の土地を買收する事が能きるし內地人でも千圓か二千圓も資本を投ずれば地主としても又大規模の農業經營者としても立派にやつて行ける間島と云ふ非常に好適の地に關はるが

◆三百年前 に於て加藤清正は京城より北進し鏡城會寧を經て豆滿江を渡り間島一圓を斬り廓け局子街の北方高地に進み南面して明の帝都に向つて弓を彎き茲から師を班へし路は渾春を經て再び會寧に出で獨津より船にて鏡城に至りそれより南に歸つた三百年前に於て既に我

◆日本人の 足跡は東間島一圓に及んで居る、今後吉會鐵道の開通と共に間島の繁榮は期して俟つべきものがある、會寧は間島に對する要路にして會寧を經由せざれば間島に入る事は能きない一面の連山に取り圍まれた間島は西南に於ては僅かに會寧の一方に開け會寧からオランカイ嶺を越ねて始めて

◆東間島の 平野に入るのであるオランカイは昔時オランカイ民族の居住した地方である、今は鮮人は新興坪と呼んで居る、此の地方は昔時幾多の民族興亡し支那人は滿朝發祥の地愛親覺羅氏龍興の地なりと稱し朝鮮人は又鮮民族發祥の地と稱して居る廣大なる沃野山脈に圍繞せられ

◆其の間に 幾條の豆滿江支流の貫流せる間島は昔時に於ては確かに民族興起の適地であつたと思ふ、今は交通開け國境會寧には我が軍隊が駐屯して居るから內鮮人は安心して間島に居住し發展する事が能る（終り）



◉僧侶團の歸鮮

內地視察中の朝鮮僧侶團一行九名は二十三日午前釜山著連絡船新羅丸にて歸鮮したるが一行は二十三日午後十一時發列車にて京城に赴く筈なり（釜山特電）

◉小學校長の妻 實子を殺す

鹿兒島縣熊毛郡種ケ島伊關小學校長伊集院啓吉の妻つる（三）は自分の子の發育を厭ひて惡砒素を喫かし腹卷に包みて踏み殺さしめし事發覺し其筋に拘引されたり（鹿兒島電報）

◉大猪を射殺す

咸鏡南道端川郡北斗日面には常に猛獸出沒して家畜を拉去し或は農作物の被害甚だしく去月九日より二十一日の間に耕作物三十四石（四十圓）家畜九頭（三十三圓）の被害を蒙り同地方里民は民等を設けて驅除に努め居れるも効果なく龍陽里警察兵出張所は九月六日地元洞民二十五名を勢子とし松里新德山山腹一帶の地を狩立てたるが大森林とて數頭の害獸を目擊せしも之を捕獲するを得ず漸く猿一頭を射殺し翌第二日は化陽洞に赴き猪群の出沒地を狩立て四十貫目と十八貫目の猪各一頭を射殺したり

◉英國人 司祭從軍志願

△朝鮮に於ける英國聖公會の活動

十九日の本紙に掲載したる「英軍の人夫に支那人」と題する記事には二三誤聞あれば、訂正旁々朝鮮に於ける聖公會の戰爭につきての活動を記述せんに同會の幹部に屬する十四名の英國人司祭中の二名はトロップ主教の命令により

▲軍隊附司祭 となることを志願して已に數箇月以來佛國にある英軍に從軍中なり然るに最近東京の英國大使館附武官より日本並に支那に在住する英國臣民中支那より歐洲に送るべき軍用人夫を管轄すべき將校として勤務することを志願せんことを求め來りしにつき、此勸誘に應じて朝鮮に於ける聖公會の英國人司祭五名は主教の同意を得て志願することとなり、十月初旬出發する筈なり、かく主教と是等司祭との本件に關する行動は全く

▲其自由意に 出でたるものにて英國領事が任命したるには非ず是等の司祭が不在となるは朝鮮に於ける傳道事業に多大の不便を與ふれど、今日彼等は其本國の爲めに努力すべき時なりと信じ、進んで志願したる次第なり是と同一の理由により仁川に於ける聖公會の病院も閉鎖され醫術及び看護事業の幹部は今や殆んど全部歐洲埃及メソポタミア其他の地方に於ける野戰病院の事業に從事しつゝあり

◉家族會の賑ひ

廿三日西大門俱樂部で

西大門クラブの家族會は廿三日の午前十時半から開催、折から祭日の天氣にも拘らず會員は教育家關係の與樣からお孃さん達八百五十餘名で殊の外の賑はひ、庭前の樹立に設らへられたる舞臺の上には先づ入澤京畿道第一部長の開會の挨拶あり、次いで本クラブも役の總督府獵友クラブと合併する建議あり滿場異議なく可決、夫れから教育手品の次ぎに坊ちやん孃ちやん方のおもちや拾ひが試みられた、猶ほ餘興としては徒歩競走、筑前琵琶樂の催ほしあり午後はまた林間模擬店の御馳走もあつていづれも非常な喜びであつた

◇　◇　◇　◇

◉霽れ模樣を見るかも知れぬ 二十四日の天候

二十三日は折角の祭日も陰鬱な天氣であつたので二十四日の祭日も斯んな風ではないかと思つたから京城測候所に聞合はして見た同く

二十三日朝支那東海の中部に少し優勢な低氣壓が現はれて夫れが東北へ進行する模樣なので同日は斯んな濕り勝ちの天氣であつた、さうして此の影響を受けて朝鮮の南部殊に全州の邊りは大分風が吹いたらうと思はれる、而して此の外に仁川沖にも極く少さく淺い低氣壓があつて又た判つきりとは解らないが、支那山東省附近にも低氣壓が發生する如き模樣があるので、若し之れが發生して朝鮮の西岸方面へ進んで來ると二十四日は可成の雨があるかも知れない、大體に於て氣壓の配置は斯くの如く複雜で混亂して居るから今の所適中すべき天氣豫報を發し難い次第であるが前記の如く山東の低氣壓が發生しさへしなければ或は二十四日に霽れ模樣を見るかも知れない

◉京都の朝火事

二十三日午前十時京都市木屋町佛光寺上る旅館菊家こと奧里谷藤三郎方と金れん旅館こと渡邊でん方との間より出火し半松別邸外六戶燒失同十一時鎭火したるが右火元に就き兩旅館にて爭ひ中なれば原因不明なり（京都電報）

◉脫營兵捕はる

大邱步兵第八十聯隊第十一中隊步兵一等卒福岡縣生れの野口與四郎（二三）は十九日夜十一時頃營舍より脫走して行衛を晦ましたりこれを發見したる同中隊にては直ちに各方面に手配し行衛搜査中二十日夜東城町に潛伏し居れるを發見して取押へられたり

◉病院の小火

二十二日午後三時十分頃京城北米倉町京城婦人病院工藤武城氏方構內浴室の煙道破損の箇所より發火し大事に及ばんとせる際同院より『火事』の呼び出し急報に接し南大門常備消防隊が出動して即時消止めたり同院には入院の患者等あり一寸大騷ぎを演じたるも別に異狀なかりしと

◉兄弟で殺害

全北高敞郡富安面水車里李根甫は十七日午後十時頃同里李聖甫及び同人弟在一と取引上のことより格鬪し順甫兄弟は力を合せて李根甫を打ち殺したる旨被害者の從兄が訴へ出でたるより所轄高敞署にて犯人兄弟を十九日午後六時頃捕縛したり

◉秋季皇靈祭遙拜式 仁川神社にては來る二十四日恒例式として午前九時より秋季皇靈祭を擧行すべく府尹以下官民の參拜あるべし

◉平壤驛火事誤傳 〔不審火事あり〕と傳へられたる爲め仁川其他各地の同業者より見舞電報到着せしが右は貨車中の木炭より發火して半燒し發見の際直に消止めたるなりと（平壤）

大戰の教訓

（四）▽理學博士三宅驥一氏談△

◇棉花と紙と鹽の自給

日本に於ける綿はまた最も自給自足に努めなければならぬ、殊に戰時に於ても綿は織物用火藥用として今日最も大切がられて居るが不幸にして自國內に出來ないので木材からその代用品を採つて居る、日本も一朝事あればこれと同じ窮狀に立至らねばならぬ。併し日本の內地臺灣に於ては良い綿を拵へる爲めには是非共種子を撰ばねばならぬ、幸ひ朝鮮には近來淺山の棉花が出來る。これは益々獎勵したいものである、今日わが國に於ける紡績業は印度、亞米利加地方の棉花がなければ何うすることも能きない、製品はみな大陸支那に賣り出して居るが一たび國家有事の際も考へなければならぬ。次は紙の問題である、日本の製紙業は幸ひ自給するだけの力はあるが戰亂のおかげで紙價の暴騰を止むなく招いた、製紙材料は戰前外國に多くで輸出したものだが今では樺太北海道等のものも不足を告ぐるに至つたこれからは何しても朝鮮に來て鴨綠江上流の木材を採らねばなるまい。

幸ひにも同地方の森林の七割方は樅、唐松をはじめ、松柏類の柔かい木材である、これ等は最も製紙原料として適當であるから將來盛んに用ゐられるであらう、併し製紙用には木屑で充分役に立つから良材は材木として賣り出した方が宜しからう。鹽の事について一言したい、鹽は日常必須の食用品たる以外に又化學工業の大切なる原料である、殊に硝子を造る曹達の如きも鹽から採る、今日內地に於ては鹽の專賣により約一千萬圓の收入はあるが、その代り二億圓に近き化學工業上の損失を招いて居る、加之ならず鹽の高値は水產業にも影響を與へる。今日專賣局ではいくら安く賣つても百斤六十錢はかゝるといふから戰前に朝鮮あたりへ輸入した獨逸の岩鹽の二三十錢に及ばぬのである、それに支那の山東、關東州の十四五錢に比べると尙にお話にならぬのである、併し一朝有事の際は海岸の田畑を鹽田に使ふまでも必要であらう、また朝鮮でも自分で自給する必要がある。

以上は僅かに二三の例に過ぎぬけれども將來は是非總ての物に自給自足を圖らねばならぬ、あまり極端には出來ぬが各國共に此の政策は採るであらう、國民はこれ等の點につき深き用意がなくては叶はぬ（完）

ふもと灯

▲去年の今日（九月二十三日）京城での第二番目のコレラ病にかゝつた人は櫻井町の佐々木いしといふ婦人▲今日はその一週忌といふので黃金町四丁目の若尾節造といふ老爺さんがわたしの四郎八といふ人これを見て『鰯の蒲燒の買うて歸つた▲すると隣家の藤原さんは美味からう何處にあるか』と節造さんに訊いた▲それぢやこれを喰べたらよからうといふので四郎八さんの妻君と娘と節造さんの妻君と一同五人が鰯を喰つた▲ところが喰つたまではよかつたが五人とも顏を眞紅にして苦しみ出し醫師のお蔭で漸く冷やした▲幸ひ池上病院で生命はとりとめたが此の頃のわたしは劍呑至極▲大邱の柿の走りが廿一日に百個出た値段は一顆六七厘、去年はコレラで三厘位であつた

讀者文藝

▲謠俗「和」

三河町寶市前 關口 乎曉

○秋の夜更けに和讃が漏れて月に冷たい鉦がなる（一等）

▲露深く夜通し流れて瀨は八里の月夜風 大塚村 秋 德 生

▲燒の鳴く音に朝露晴れて草に蜂なる月は和 利川 ふの字

▲鄕の花に露ふくませて月の風情を和歌に書く 京城 眞 史

◉新町修技所の修業式

京城新町遊廓娼妓を教養する目的を以つて設立されたる私立京城新町女……業六名高等小學校卒業……十六名尋常小學校卒業七十四名尋常を卒業せぬもの二百三十三名で殘り三十六名は……一年後の今日は何れも相當の成績を示すに至つた定刻と共に席定まるや赤荻取締より卒業生等に證書を授與……

前八時釜山入港新羅丸一二等客 一等（九名）藤江惠輔、林英太郎、佃彼左衞、留島莊平、現兩人五名 二等（二十名）三四居佐太郎、鈴木惠美、菅屋正一、栢原幸、柴田靜、藤田てる、片山ふい、細川……

二等客 一等（七名）吉川新、坂本信、彼木、柴賀枝、佐野枝之助、米國人一名、英國人一名 二等（八名）池田女一、香川寅、堀岡政六、水谷忠三、田中彌次郎、林保誠、渡邊至一、露國人一名……

（二十一）課題（俗謠）募集規定 △川柳「兜」 同廿三日 同廿四日 △都々逸「菊田の花」 同廿四日 同廿五日

懸賞募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の課題……氏名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲選擇の上紙上に掲載す……

天氣 小雨後曇り ▲九月廿四日……

洋酒罐詰卸商 釜山長手通 ㊍あづまや商店 振替京城三九番

內外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 石油 卸商 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

雜貨卸問屋 月刊商報呈送ス 釜山大廳町 明治屋本店

內外雜貨卸問屋 釜山本町二丁目 近江屋支店 電話八〇二番 振替京城一三七番

內外雜貨卸問屋 長岡商店 釜山辨天町 長手通 電話八三一番

米穀調製器 收穫用器具 販賣 竹製消火器 南鮮發賣元 釜山本町 朝鮮勸農商會 地方特約店募集

卸問屋 洋菓子洋酒 食料品 東京三河屋 英米直輸入 清鮮代理店 釜山幸町 ミトヤ商店 MITOYA.CO 商報發行

釜山商店案內

羽鹿燐寸 京城本町 電話三五〇番 森久本店 ねの安い 品質保證の 最經濟的 『マッチ』は…… ハネシカに限る マッチ（燐寸）は ハネシカ B.TAKIKAWA, HIOGO JAPAN.

失權公告 左記ノ者當社株式第五回拂込ニ付商法第百五十二條ノ規定ニ依リ本月十日限拂込ムベキ催告ヲナシタルモ遂ニ拂込マザルニ付商法第百五十三條ニヨリ右名義ノ株券ハ失權セリ…… 大正六年九月廿日 朝鮮煙草株式會社

七版 勤儉 堂主人述 債券利殖秘傳 投資の問題となれる驚くべき致富策の發見 未だ讀まざる人よ速に讀め！五圓以上の貯蓄あらば直に實行して安全確實に資金を廿割以上に運用する秘訣を授く 純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安い 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番 ▲金卅五錢 東京小石川 同仁社 ▲振替三一八四二 郵券一割增 各書店取次

大正九年九月二十四日（月曜日）　京城日報　（大正九年八月十日第三種郵便物認可）　第三千六百一號（三）

子供技所にては二十三日午後一時より第一回從業證書授與式を擧行せり而して內地人娼妓三百七十五名鮮人娼妓五十九名の中內地人で女學校卒[illegible]無教育者であつたが是等も一年後の今日では相當な修養が出來た一方鮮人の方では普通學校卒業生が六名で殘り五十三名は無教育者であつたが[illegible]長、宮館本町署長も臨席して一場の訓示があつた

◉連絡船上陸客　二十二日午後九時釜山入港對馬丸一[illegible]

◉暴風警報　[illegible]

鐵!!鐵!!
内地では試掘出願が多い

銀は固より鐵石炭等の重要鑛物の總てが未曾有の相場を見せてゐる今日利に聰い山師が鑛山の

◆試掘に手を出すことは實に夥しいもので大阪鑛務署の統計に由ると八月中の試掘出願件數だけが三百八十件（戰亂前二年間の出願數に同じ）と云ふのだから驚かされる中には既に有望と見て發掘にかゝつてゐるものもあるが此頃になつてから俄に

◆鑛山業者が手を出し初めたのは鐵の發掘である、一體我が國では銅山、金山、銀山は少くないが鐵を出す山と云つては殆ど皆無に釜石、仙人、栗木の三鑛山あるのみ然も此の年額が銑鐵八萬五千噸、鋼鐵三十萬四千噸外に錬鐵、銅鐵を合して一萬噸足らず日本全國需要の製鐵

◆七割以上は外國（主に米國）から輸入しなければならぬと云ふ情ない有樣だから一朝米國から鐵材の輸出禁止に遭つて我國の製鐵造船業者が異常になつて顚へ上つたのも無理からぬ話、政府でも鐵産製を發じたり努して明治三十年以來種々と鐵の

◆發掘を奬勵し來つたのであるが何しろ價の安い割に製産費が嵩むので眞劍に鐵鑛業に努力する者が無く前記三鑛山なども歐洲戰爭がもう二月後れたら潰れて了ふとまで評判されたものだ、處が戰爭以來鐵の價は暴騰又暴騰此間まで幾分高低の波瀾はあつたにしろそれでも銑鐵一噸價は三百圓を下らず戰亂前に比較すると

◆殆んど十倍の騰り方縱令戰爭が終熄しても到底元の値段になるやうなことはなからうと云ふのでそこは其道の玄人だけに前途を見込んでの試掘出願頗に夥しくこれ迄山師からも見放されて皆目顧出のなかつたものが七八と

◆二箇月の間に鳥取縣の二十三件を筆頭として兵庫、和歌山、島根、滋賀、高知、廣島の各縣で、銑鐵、鋼鐵のみの試掘出願が五十一、金、銀、銅等と共に採掘を出願せるものは硫化鐵の試掘出願を合すと大阪鑛區だけでも百五十餘件に及び既に發掘に着手して居るのもあり中々有望なのもあるさうである（大阪）

◉龍山二校增築

過般學校組合會の一問題となれる龍山新校舍設置の件は遂に原案否決となりたれば組合にては豫定の如く龍山二校の增築を行ふべく來る二十四日頃迄に設計を了へ道長官の認可を得たる上直ちに工事に着手し來る十一月迄には少くも竣功を終り明春迄には全部の完成を告ぐる豫定なり

◉鮮人勞働者内地へ
募集數一萬六千餘人

鮮人勞働者の内地輸送に就ては歷報の如く内地各種工場より社員を特派し警務總監部道警務部等の認可を受け續々輸送中なるが本年一月以來八月迄に總監部の認可を受けたるもの十八件募集人員男九千四百人女二千三百人合計一萬一千七百人中既に募集渡航せしめたるもの男二千九百八人女四百五十七人合計三千三百六十五人又道警務部認可に屬するもの二十三件募集人員男二千四百七十五人女二千四百十五人合計四千八百九十人なるが此の内募集渡航せしめたるものゝ數なるや不明なり勞働の種別は石炭坑夫鐵道工夫紡績水力電氣汽船役夫硝子製造製鋼擔其他に使用するものなりと

十段採用
▌廣告依賴者に告ぐ▐

本社は新聞界昨今の趨勢に鑑み本紙從來の一頁九段制を十段制に改め愈々來る二十五日發行夕刊より實施する事に致候即ち現在の一行十六字詰を十五字詰（一段の行數は現在の儘振假名無し百五行振假名附六十五行）に變更其結果一頁に六百三十字八頁總計五千四十字を增加する事と相成り外形內容共に一段の刷新を見る事と確信罷在候就ては廣告原稿及び挿用木版、鉛版等は從來の儘にては支障を生ずる事有之べく候間十段制實施後の廣告原稿は何れも其御思召にて御手配被成下度猶ほ廣告料金單價は現在の儘に有之候間左樣御承知被下樣為念申添置候也

九月廿二日

合資會社 京城日報社

◉人妻を賣る

慶北達城郡月背面下洞居住の李敎寬（三五）は同地居住の某の妻なる都諸伊（二〇）と關係し居るを探知したる漆谷郡生れの權先伊（四六）が李敎寬に對し何に知らぬ體にて都諸伊はまだ嫁入前の女なるが妾に周旋すべしと稱し前記の如く都は人の妻なるに拘はらず花嫁なりと詐稱して李に嫁入らせ報酬として李より金六圓を收受したる事を大邱憲兵分隊にて探知し三名共取調べの末大邱地方法院に送られたり

◉猪原廣島高師校長　過日來總督府小貫視學官同行にて湖南線方面の學事視察中なりし廣島高等師範學校長猪原恒氏は二十三日午後三時四十五分著列車にて大田に來り中學校其他を視察の上同日午後五時五分發列車にて京城に向へり（大田）

◆金魚草の蒔き時
何うして作ればよいか

◆何の種子類を蒔くにも一番適當してゐる、お彼岸の頃となりました。草花の種子は可哀いものですから、餘り暑いのも寒いのも困ります。

◆先づ來春の四月頃から、花壇や花屋を最も賑す金魚草の作り方をお話しいたしませう

◆金魚草の種子は極く小さいから、なるべく丁寧に箱か鉢にお蒔きになつた方が宜しい、けれども發芽の成績は非常に宜しいものですから、出揃ひなどは殆どありません。

◆四五分の大さになつた時、他の鉢に相當の距離をとつて植替へます。

◆七分位の大きさになつたら、油粕を水で解いたのを施します、一寸位の大さになつた時、小さな鉢に一本づゝ植ゑるか、花壇へ三寸位離して植ゑるかして置きます。

◆霜が結ぶ樣になつたら、鉢植ゑのものは夜間だけ屋內に入れて寒さを防ぎ、花壇植ゑのものは、藁か簾かで霜覆ひをしてやります。

◆來春三月の末になつたら、鉢植ゑのものは肥た土で大きな鉢に植ゑ替へ、花壇植ゑのものは別の花壇へ一尺位の距離に植ゑ込んで、充分肥料を與へて置けば四月の末頃から美しい花を見る事が出來ます。（某種物通談）

おとぎばなし　燈臺と烏

ある港の入口に燈臺がありました、その燈臺の灯は、夜中光つて朝早く消えてしまひます。その燈臺があるために、夜港へ出入りする船は、どんな闇夜にでも過ちなく港へ出入りが出來るのです。

ある日のことでした。一羽の烏が何處からか飛んで來て、その燈臺にとまりました。そして烏は燈臺にとまりながら、

『もし〳〵燈臺さん〳〵、あなたはいつも此處から動いたことはありませんね。なぜあなたはいつも此處へ立つていらつしやるんですか。』

と言ひました。燈臺はかう言はれて、

『さうだよ。おれは此處から動いたことはない。おれがお前達のやうに方々飛びまはつたりしちやそれこそ大變だ。なぜ又お前はそんなことを聞くのかね。おれがちつとも動かないのををかしいとでも思ふのかね。』

烏はうなづいて、

『だつて、年から年中此處へ立つていらつしやつて、ちつともお動きになる樣子はありませんから、なぜだらうと不思議に思ふのはあたりまへぢやありませんか。』

と申しました。燈臺はクス〳〵笑ひ出し、

『さうか〳〵、一體お前はおれの役目を知つてゐるかね？』

烏はびつくりしたやうに目を圓くして、

『へえ、あなたにも役目があるんですか。』

『ナニ、あるんですか？、あるのをお前は知らないのだな。これは驚いた。』

『私の方が餘程驚いてゐます。一體あなたにはどんな役目があるんですか、たゞ此處へ立つてるばかりぢやありませんか。』

『お前は夜のおれを見たことがあるかね。』

烏は首を振つて

『いゝえありません。私は夜になると森の中へ歸つてやすんでしまいますから、夜のあなたを見たことはありません。』

『それでおれの役目に氣がつかないんだ。』

『夜になるとあなたはどうなさる。化けるんぢやありませんか。』

『馬鹿を言へ。おれは化けたり何かしない。おれはねえ、夜港へ出入りする船に、此處から灯を見せてやるんだ。それがおれの役目なんだ。』

『ほう、始めて聞きました。灯を見せて、それからどうなさる。港へ出入りする船に灯を見せて、そしてお茶でも汲んで出すんですか。』

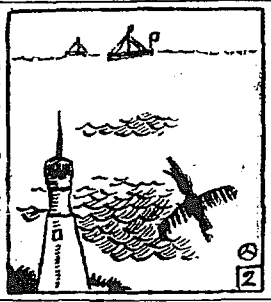
『たゞおれは灯を見せてやるだけだよ。』

『たゞそれだけですか。つまらない役目ですね。』

と言つて烏はあはゝゝと笑ひました。

『分らない烏だな。おれが此處から灯を見せてやるから、港へ出入りする船は、怪我も過ちもなく港へ出入りすることが出來るんだよ。』

烏はやつと合點が行つて、



『さうですか〳〵。それがあなたの役目が分りました。それであなたは年から年中此處を動かずに、年から年中雨風にさらされながら立つていらつしやるんですか。』

『さうだよ〳〵烏さん!!』

『感心しました。あなたのねらいことが始めてよく分りました。今まで輕蔑してゐたのは私が惡うございました。』

と烏は燈臺にお詫を言つて、それから大層燈臺を尊敬するやうになりましたとさ。（をはり）

渚の砂

◉誤つて絞殺　鹿兒島縣肝屬郡串良町[illegible]谷きさ（六〇）は孫の吉身（九つ）が惡戲をしたから折檻の爲め細紐を絞めた際誤つて絞殺した

◉珍らしい白蛇　埼玉縣入間郡市場村山崎藤三郎は赤澤山林の道で全身白色長さ三尺五寸餘りの蛇を捕つた

◉月光夜學校　群馬縣勢多郡林町の小學校で一週間毎夜一時間生徒全部に唱歌、讀方、語學等の授業を行つたが頗る成績がよいさうで村民は月光夜學校と呼んでゐる

◉飛行機と首引　三重縣松坂町野口彦三郎（四九）は日夜飛行機の發明に苦心して家業を失ひ果は娘を娼妓に賣つて話題中してゐる

◉淪落づくしの女　鹿兒島縣中出水町鬼塚ふじの（二八）は夫と子供二人を捨てゝ他の男と關係し其の男の病氣を看護させて駈落してしまつた

◉困つた醫師　仙臺市東北醫科大學助手醫學士田代俊藏（二七）は掛用の訴訟、娘がある限他の女と關係したので身の所置に困つて自殺した

◉稀代の怪盜　愛知縣豐橋町一色村松浪竹四郎（四つ）は竊盜九百八百餘あり十五六歲の少年と伺捉な取つても負けた事がない

◉高尾擬きの女　岐阜縣揖斐郡池田村後藤てるね（一八）は田舍芝居で伽羅先代萩の高尾を夢見て姉數を感鬪したが見るさ實際との飛びに呆れ果てた末投身自殺を遂げた

◉紙屑から金指輪　下關市本町八丁目田本よし（三七）は紙屑に雇はれお屑整理をやつてゐる內ダイヤ入金指輪二個（四百三十八圓）を拾ひ出し一個を七圓に賣り他の一個を警察中刑事に發見された

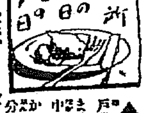
神社とお寺と敎會

○鳳閣寺　二十四日彼岸中日に付午後一時より彼岸法會施餓鬼及說敎等の變更あり同五時より茶話會

○成身院（旭町二丁目）　二十四日午後二時より秋季彼岸會大施餓鬼修行終りて說敎あり

◉悲慘なる一家へ　石川彌三郎一家へ其後の同情金

金二圓京城本町四丁目某氏



台所　その日その日

▲山かけ蕎麥　之は上戶蕎麥に好まるゝものであります蕎麥は熱に入れ熱湯の中に投げぐら〳〵と振り動かし直ぐに引き上げ器に五分目程入れ其上に山芋の皮を剝き摺鉢に入れ玉子を加へて能くよく摺つたものに汁の熱いのを少しづゝ加へてざる〳〵となる位に（緩りゆるくせず）を掛りかけおろし生姜一摘みのせて出します汁は濃い醬油の煮出汁一升に對し醬油五六勺其れに蒸切味醂少々を加へたるものを熱く煮立てます薬味はからめに作ります

口演藝案内

櫻井町　大正館　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○寶塚歌劇團高地旅行　寄る廿一日より提供の四大寫眞（入替時間通）
▲米國キーストン會社傑作
○滑稽活劇チャップリンの芝居全二卷
▲斯界の名優尾上松之助一派出演
○舊劇穴山小助　全四卷　眞田幸村の家臣穴山小助忍術の妙を得て忠勤す飯盛山に設陣の反賊を破りて家臣として盡し九度山に籠城す逆に大阪入城豐臣家の爲盡すさ云ふ松之助得意の忍術劇
▲佛國パテー米國支社特作品
○第四レッドサークル　全廿八卷の內第七八篇四卷提供[illegible]
▲山本嘉一立花貞次郎東猛夫合同一派出演
▲大阪朝日新聞社懸賞當選
○事實譚○○家の秘密改題『無緣の塔婆』[illegible]

京城壽町　壽座　電話五七八番
◉連鎖喜劇團一行　[illegible]

大朝連載　無緣の塔婆
二日目引續き滿員
劇戰に勝ちたる本館の大寫眞勿見逃
涙に袖をしぼらせる事實悲劇中將家の秘密改題
絶讚日延べ仕らず候間御見落しなく御早來願上候
二十四日も晝夜二回
大正館

有樂館　電話（局上）五九七番（附下）三〇五番
東京小林商會滿鮮一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約
早川演藝部直營　活動寫眞常設館
▲日曜、祭日晝夜二回開館▲特別大興行
▲寄る廿日より封切▲ユニヴァーサル週報
▲新派悲劇『田舍作の戰』（二卷）久世在家浪作
東京小林商會最近の傑作△新派實說　檜山騷動　相馬大作　誠忠錄　[illegible]
▲教育社會劇『哀流』（原名靴）（全五卷）
○東京小林商會が芸術界に誇る不朽の特作新派事實劇『女優墓』（全五卷）連鎖劇乙[illegible]

京城本町　壽館　電話一〇五〇
▲來る廿五廿六兩日午後六時より　秋期婦人演藝大會
▲筑前琵琶　▲琴三味線　▲鮮人浪花節　▲浪花節　▲尺八合奏　▲少女劍舞
◉謠曲琵琶五段の大家前田旭心師の應援

黃金館　電話二二六三七　二二六六
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
○九月廿日より特別大興行
▲澤村四郎五郎市川延十郎大一座　○淨瑠璃　心の星　全三卷
◉舊劇日本銀次
◉米國ユニヴァーサル會社傑作
◉泰西大活劇名刀（原名我軍來る）[illegible]
▲大阪朝日新聞連載（社會欄）
◉中將家の秘密改題『疑問の塔』[illegible]

完全なる設備と老練なる技術者に依り各種萬年筆即時修繕
京城旭町二の六
東京パイン萬年筆出張所

●弊社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比且に理想的なる
●大日本政府登錄　米國製正十四金「イリジューム」付ペン（責任保險付）

定價　[illegible]
發賣元　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
販賣所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

北城よりお安い質屋
おちや
勸業貯蓄債務高價買入
明治町二丁目八十七番地
支那領事館前通
南質店

りん病
家傳秘法の妙藥あり何病にて困る方只一劑を試よ切手三錢送れ人助けに其妙藥と自宅療法の詳細を教ゆ
消渇を自宅で秘密になをす
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

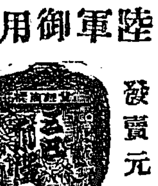
流經新藥レスリン
月經
閉止四五ヶ月以內に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を達し其效果他藥に優越す藥價一瓶壹圓廿錢送費內地十二錢海外卅錢切手添申越進呈　振替大阪三〇一〇番
大阪北區曾根崎上一丁目三六地
發行所　常盤藥院

●訂正廣告　去る十五日京龍豆腐同業組合なる各義の廣告は京龍豆腐商組合の誤りに付訂正候也
京龍豆腐商組合

入札廣告
石炭百拾六噸
右競爭入札ニ付リ購買ス詳細ハ本月貳拾壹日以後ノ總督府官報ヲ見ヨ
勸業模範場

男のひみつ病
內外國醫科大學御採納東京順天堂病院始め博士學士の實驗證明と全快禮狀湧が如く全國發明品投票に最高の優等に當選せる專賣特許手島式眞空療法器は自宅で簡單に最高の短小、萎縮、能力の諸障害、神經衰弱、梅毒等を速に治し[illegible]は生殖器病無病の人にも効果偉大也▲包裝者は特許包装安全自療器を使用せば如何なる皮カムリも手輕に治る▲ハガキで申込あれば說明書を無代送呈（專賣特許に假せたる公許も無き自稱新案特許なるものあり注意）
東京京橋本材木町三ノ二五
大阪市北區北森町一番地
新療法研究所

陸軍御用酒

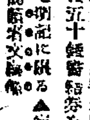


京城蓬萊町
發賣元　三巴酒造株式會社　電話長一〇六七番　振替口座六一八番
大田出張所　電話長一二五番
平壤出張所　電話長五一一番

特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

元金損なし年三割利廻り◉月々配當す
大金利
何百年でも元金を損せず毎月貳百圓の金利をどんな遠方に居るも取れ式百圓を出資する時は其出資金で收入向家屋を建築し此家屋から日掛家賃を取立出資者に配當する最も堅實安全の仕組で是は當會社獨特の考案で社會政策に基く貧民救濟理想大都會本社命名の北新町建設の大事業で目下數萬坪の大地積に盛んに建築中で有升詳細は說明書を郵券封入御請求下さい
東京三河島北新町
電話下谷二二四七番　五三八三番
建物興產合資會社

外科 一般花柳病科
內科 一般皮膚病科
京城旭町一丁目（本通り左に入る）
普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
電話二七三六番
島崎病院



豫報
▲京城溫度　[illegible]

左甚五郎

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

第三十六席

忍ケ岡、不忍池などといふ、忍ケ岡と云ふのは樹木深々と生茂つて更に見分けずと云ふ處から忍ケ岡、不忍池と申しまするのは只今では小さくなつて居りますが以前は根津谷中日暮里の邊までまるで一圓の大池で、一と目に見渡しましても隠れる處が無い、されば不忍池と古くから申しました、夫木集の常蓮法師の歌に

見し人の忍ケ岡の花薄
招くは招く心地こそすれ

といふ名高い歌がありますが、恰度江戸城の鬼門に當つて居りますによつて此處へ始めて寛永の二年二月工事を起しまして天海僧正自身御指圖なされ、勿論諸侯方が悉く力を添へました、寛永四年九月出來いたして御普請奉行は土井大炊頭利勝侯が勤められました、出來上つて後に東叡山圓頓院寛永寺と云ふ寺號を下されました、一體天台宗のお寺といふものは昔は淺草の淺草寺の外にはありません、されば徳川家に於て御祈禱は淺草寺へ仰付られました、慶長五年關ケ原一戦の際にも勝戦のお祈りを淺草寺へ御沙汰になりました、されば慶長五年九月十五日正午前の戦は關東方悉く勝戦であります、處へ淺草寺から御祈禱をいたしました御札を御本陣へ持つて參り、直ぐそれを陣中へお立遊ばす途端に松尾山の絶頂から金吾中納言秀秋の兵が繰下しまして大谷刑部の備を打破つて關東の御勝利と相成りました、處が淺草寺に三十六坊ある、何にしろ推古天皇の昔より打續いて繁昌をいたしました淺草寺、坊の數も三十六是は何れも妻帶であります、今度出來ました寛永寺是も淺草寺に倣つて三十六坊を建やうといふ、然し檀越といふものが無ければ却々維持いたす譯には叶ん、如何いたしたものであらうといふ時に、土井大炊頭が公儀に於て天下泰平の祈禱所として是は七堂伽藍を造營いたす、然て見れば徳川家の徳澤に潤ひ今日を安く送る國持大名誰一人天下安全を祈らざる者のあらん、決して差支はあるまいといふ、此の一言で成程と諸侯が非常に力をお入れになりまして、やうやく其の七堂伽藍を造營なされた、尤も紀州尾州水戸、此の御三家並に松平伊豫守忠政是は親しき御家門でありますから最初に院地を割渡しましたから、先に是は出來いたし續いて三十六坊悉く出來上りました、されば上野寛永寺は天下泰平の御祈禱所でありますから、何れの坊へ參りましても家康公の御像をチャンと安置いたしてあります、地形は甚だよく殊に發願人が天海僧正、檀那は天下の將軍徳川家光公、それに當時屆指の諸侯がお手傳ひでありますから瞬く間に宏大無双の七堂伽藍が竣成に出來いたし、天海長老大いにお喜びであります、處が常陸下舘の領主水谷伊勢守勝高といふ人が南光坊天海と大の御懇意で公儀より淺草川の川浚を仰付られ下舘から多くの人夫をお伴になつて毎日淺草川を浚つて居りましたが今度寛永寺が出來いたしたに就て右お喜びに南光坊の許へ參られました、天海僧正は喜んで早速伊勢守に種々御馳走をなされ打解けてお話しの時に、伊勢守が「帝都の叡山に擬して此度東叡山寛永寺美事に出來をいたし師の御坊も嘸ぞ御滿足にあらせられ樣、それに就て一山の下には琵琶の湖水こいふ名高き近江の湖あり、其の湖水の中には竹生島といふのがあつて辨財天が勧請いたしてある、幸ひ此の下に不忍の池があれば其の池中に中島を築立て、是を竹生島に倣へて辨財天を勧請いたしては如何でござる」と勧めました。

平壌名産ゲンブグリが例年の通り參りましたから御用命を願ひます
京城旭町一　電一八五二　玄武堂

登録商標
三ほまれ味噌
日本醤油株式會社出張所
電話二四五番

九月廿五日　九星　舊八月十日　庚午　本命九紫　南　納　大安

▲九紫● 爭談の起る日謹み宜し見合西方は吉　▲一白● 氣に塡はぬ事有日新事手控宜し　吉女子は行裝を謹まるべし　▲二黒● 大望成願の日轉居旅行入塾求職探　縁談件縁結取物　皆吉物に勝の日　▲三碧● 災厄の日轉居開業吉　の願ひの良禄を得る日大吉群の日也　▲四緑● 轉居出　遊隠求職縁談件　名弘婚證入　[illegible]　▲五黄● 善心の起る日轉居　開業等萬吉　▲六白● 他に慈善事業を起すに妙也　注意せらるへし　▲七赤● 損徳五分五分の日なれども新事目の方吉商事開始は如なし　▲八白● 大利の日轉居入學旅行名弘求職　造船命名縁婚

九月廿六日　九星　舊八月十一日　辛未　本命八白　艮　開　赤口

▲八白● 溜深自の事有日新事見合乾の方は吉　[illegible]　▲九紫● [illegible]　▲一白● [illegible]　▲二黒● [illegible]　▲三碧● [illegible]　▲五黄● [illegible]　▲六白● [illegible]　▲七赤● 大吉の日轉居行商出[illegible]

汽車
京釜　南大門發　[illegible]
同　[illegible]
京義　南大門發　[illegible]
同　[illegible]
京元　南大門發　[illegible]
湖南　[illegible]
兼二浦支線　[illegible]
平南　[illegible]
京仁　南行　北行

京城日報
九月二十四日
（夕刊と合せて八頁）
第三版

…[illegible]…必要を唱道…も且つ該貴を加へたるものにして容易ならざる事件なるが更に遂陽、四〔…〕
然るに満蒙の[illegible]我軍隊に反抗したる支那官兵あり八月末より九月にかけて此種事件の突發せるもの實に十數件に達せり、斯の如くんば満蒙[illegible]

▼日支親善の中毒 にあらざるか即ち恐に狃れ易き支那官民は近[illegible]事件の頻發[illegible]非ざるか日支親善は固より必要なる[illegible]亦は高倚なる意義より唱道せらるゝものにして満[illegible]る彼等の[illegible]に秋霜烈日の威嚴を示すを要す一方に於て嚴重に取締し[illegible]して始めて日支親善の實は成立[illegible]

▼憲兵制度の實施 せられて[illegible]今日に於ては先づ我が威力を確立し彼等をして我を畏敬せしむる傍ら更に一歩を進めたるも斯くの如きは却て[illegible]を全然日本の手に收め以て平和の保障せらるゝに至らんことを望むと稍々神經的なる說なれども一說として紹介す（天逃）

軍國主義と民本主義（下）

德富猪一郎氏談　中島司

民本主義の差別

更に民本主義の勝利と云ふ事に就ては、疑を容れぬ事である。今日の戰爭は、帝王や宰相の戰爭ではなく、國民の戰爭である。兵隊も國民より徵せねばならず、軍資も國民より徵せねばならず、萬般の事、國民に藉たねばならぬ。乃で戰爭の結果は、國民に一切を負擔せしむると云ふ事になり、負擔せしむると云ふ事は、國民の權力を增すと云ふ事になる。即ち大なる義務は、大なる權利と相伴ふものである。此の意味に於て、民本主義の流行は、當然の事である。然かし此の民本と云ふ事は、個人を本位としての意味ではない。國民總體を本位としての意味である。言ひ換ふれば、國家は國民其物の力に依りて支持し、又國民其物の爲めに生存すると謂ふ事である。世界的大戰爭に付ては、各自隨意の行動ほど、有害のものはない。共同の目的の爲めには、個人の意思も、自由も、都合も、便利も、或る程度までは、犧牲とせねばならぬと云ふ事でなくては、到底一致協力は出來ぬのである。今日の民本主義は、即ち此の條件の上に成立するものであつて、個人の自由を、極端まで伸張使用せんとする如き、個人本位の民本主義とは、全く別物である。然るに、世間の所謂民本主義論者なるものは、其意味を履き違へ、恰かも露國の勞兵黨等が爲す如き事を以て、民本主義と心得て居る者あるは、全くの見當違ひである。今日の世界の要は、民本主義ではない。寧ろ要ふべきは、非國家主義である。國家を無視し、國憲を無視し、所謂勞働者階級なるものゝ利益の爲めには、總てのものを顧みぬと云ふ思想は、英國にも、米國にも、佛國にも、殊に今日の露國に最も多いのである。彼等は必ずしも、其の意見議論に於て、悉く同一模型より打ち出したる如きものではない。彼等の中には、唯だ平和を好む者があり、若くは、權力に抵抗する事を好む者があり、若くは、資本家を憎み、財産私有を不可とする者がある。種々様々の者があるが、しかし彼等は何れも、非國家主義に於て同一である。若し所謂非國家主義を以て、民本主義と視する事になつたらば、其れは實に國家の大敵である。然るに、世間では味噌糞の差別なく、一切合せ、悉く民本主義の名を付けて之を歡迎するなどとは、言語道斷の始末である。中には露國の革命を以て、民本主義の勝利と做し、之を歡迎するが如き口吻を洩らすものさへあるが、如何に放言高論が、彼等の本色なればとて、餘りに無遠慮の事と、謂はねばならぬ。露國の百姓共は、唯だ貴族の土地を取上げ、之を己等に分配さへすれば、宜いと思ふて居るのである。即ち正札附の泥棒である。正札附の泥棒を民本主義の標本と云ふに至りては、言語道斷の沙汰である。然るに世界を通じて、斯くの如き危險思想は、皆無ではない。虎列拉病の在る如く、黑死病の在る如く、政治世界にも、種々の黴菌や病毒があり、病毒も在る。此の黴菌や病毒が、民本主義の美名を帶びて、出で來るが如きものあらば、最も怖るべきである。我等は之を根本的に退治せねばならぬものと思ふ。是れは何れの國にも限らず、世界の公敵として、世界を擧げて、退治すべきものと思ふ。戰爭の後には、種々の流行病起るが如く、是れも亦一種の流行病として起るであらう。唯だ國運の消長興廢に、最も恐く此の病毒を退治すると、否とに依りてまるものと謂はねばならぬ。

我々が云ふ民本主義、國民を基礎として國家を成立さする民本主義、言ひ換ふれば、國民本位の民本主義は、日本に於ては、本來日本固有のものである。日本に於て皇室は人民の父母であつて、又人民の宗家であつて、又人民の君主である。皇室は即ち民の爲めに存在するものであると云ふの根本思想は、一貫して居るのである。所謂『大御寶』と云ふ言葉は、神代よりの傳來であつて、此の意味に於ける民本主義は、皇室の天壤無窮なるが如く、皇室と倶に儼存して居るものである。言ひ換ふれば、我國に於ては、民極の止まる所、即ち皇極にして、皇極の止まる所、即ち民極である。即ち君は民の爲めに存し、民は君の爲めに存す。民本主義、即ち君本主義である。一言すれば、民極も皇極も、只だ一の眞理を兩面より見たるまでゞある。斯かる次第であれば、民本主義を新舶來の輸入品の如く取扱ふのは、實に日本二千年來の歷史を無視したるものと言はねばならぬ。然も復民本主義なる詞を、猛獸毒蛇の如く、忌み嫌ふのも、間違つた者である。然し所謂、非國家的の民本主義即ち破壞的、亂無的の民本主義に至りては、其害猛獸毒蛇よりも甚だしきものと、謂はねばならぬ。是れ民本主義に差別を要する所以である。吾人が希望する所は、日本固有の歷史に基づき、此の總體として、國民を統合する國本主義、即ち皇室を中心とし、國民を統合して、國家の爲めに、總べての國民が、犧牲を拂ひ、國家の天職を果すべく、努力せねばならぬと云ふ事を、十二分に意識し、而して其の現時に於て最も必要とするは、如上の我國民の根本的思想の確立である。其の國家の使命なるものに就ては、今一言にして盡す事は出來ぬが、要するに、我が黃人の爲めに、重荷を負擔し、東亞をして、自治せしむる事である。東亞自治の先導者は、我日本國民の天職と云はねばならぬ。

咸北大森林縱斷（四）

鐵城　山崎鼠雄

△朱村嶺 は鬱蒼茫々として行けども行けども際涯のない蒼蒼たる大高原で夕陽に浴びて行く心持ちは淋しいと云ふよりも寧ろ一種の凄味を覺ゆる其れで學生時代に獨り得意がつて吟唱したトーマス・グレー氏の『墓畔吟』と云ふ詩などが思ひ浮べ熊に亞南生に對つて話した談話も佳い境に入り遂に我を忘れて暫くは深い茂みを前に此の森の中には云ふ時節り力を入れた加減か馬は不意に足を折つたので自分は一間位前の方に放り出され危く森の中の主と化し去る處であつた最早是から馬の上では

△墓場の話 の様な緣起の惡いのは止めにせうと考へた此の邊の岩は皆玄武岩であると思はるゝ玄武岩の上を立派な大土で蔽ふて居る然るに耕地の少ないのは風の烈しい故であらう高原中に假りにも少しく低き風の當らぬ谷なれば一軒乃至二三軒の農家及び耕地がある寸土も忽にせぬ心掛は誠に感心である行くこと〔…〕里〔…〕館にして、鏡戸の小部落がある。

△富潤洞 と云ふのである柔和嶺と鬼門嶺との谷間に位する部落で決して富裕ではないと斷言しても村の人は怒る資格はない其でも雜貨商あり飯屋あり旅人宿あり旅い者には誠に便利な郭であるよ[illegible]此處で宿らうと意める松村君も是が前もうであるから此處で我を折ろけ[illegible]から馬から下りた

△鮮人宿 に入つた[illegible]に行つた松村君は風貌と鮮語が巧なので鮮人から鮮人通事扱ひにされて居る[illegible]宿の主人に對つて馬に草を食して吳れと云へば[illegible]

△叩頭して草 を持つて來る[illegible]

日報詩壇

菊池可玄選

○池亭即事
荷葉田田孤露華、涼風吹滿古池涯、孤亭日暮無人訪、月下唯聽處處蛙。
評曰寫景幽尚

○月夜聞鶴（限韻）　大石松逕
日暮登樓光景多、月明江上起金波、數聲玉笛知何處、獨鶴悠然映水阿。
評曰何等爽潤

○題墨竹（限韻）　高田小芥
靜展蕭湘絹上圖、淸風乍起捲吟鬚、風姿欲舞婆娑動、龍影如昇天矯軀、一葉濃邊分葉淡、一枝濶處數枝疏、湘州神品無人識、天下唯能有老蘇。
評曰近來弄逕者、益多、而觀畫其竹頭卒醜薬、如柳、如麻、猶誇其枝、此詩大足諷世等之輩

誰（76）

布施生譯

室内へ這入つて夫人は又ぎくりとした、室の主は利介ではなくて年の頃二十六七と思はれる青年であつた。夫人は室を間違へたのだと思つて極り惡げに『失禮致しました』『實は藏部様は此方かと存じまして』と打詫びると青年は丁寧に頭を低げながら『いゝえ、此方でございます、まあ何卒お掛け下さいまし』夫人が如何しやうかと思案する様子を見た青年は思案の透を與へずに語を繼いで『失禮ですが貴女は安部様の奥様で在つしやいましやうね』夫人は輕く頷いた、そして自分の名がもう藏部の口から人に傳へられてゐる事を知つて悸乎とした。青年は愈々叮寧に『奥様、大丈夫ですから、眞正に御安心遊ばして下さいまし、藏部がお迎へに參ず筈でございますが一寸差支が出來まして―』『でもあの方は是非〳〵私に會ひたい御用事がお有りのやうでしたのに』『いゝえ、それがね奥様、あの手紙を書いた時は少し別の考へがございましたのですが、それが今は變りまして』『へ、それぢやあ彼の方のお考へが變つたのでございますか』『左樣でございます、最初の考へをやめたのです、藏部はね奥様、貴女もお察し下さいました事とは存じますが、何も貴女を騷かす心算はなかつたのですが、唯貴女が餘り頑張りになるものですから、いわさ、藏部の方にけちやんと動きの取れない證據が揃つてゐるのに貴女が白を切らうとなさるものですから』言ひながら青年は手を延して懷の中から何か書類らしいものを取出して『御覽なさい、之が此通り證據は立派に揃つて居ります、これが此の問題の間に立つた書類です、二萬圓の受取、之は藏部から一札、手紙一札ね、之は私が藏部に賴んで貰ひ受けたのですが、貰つた理由は、いや奥様、こんな事をすれば藏部が怒るかも知れませんが』と青年は突然其書類を取纏めて、あつと言ふまもなく暖爐に燻べた、そして火箸で緊と押へつけながら淋る〳〵うちに灰にしてしまつた。

雜誌

◆人生の滑稽味（二十二）◆

[illegible]ならぬべき信仰も『綱手封へ[illegible]』と[illegible]さりませぬ』と銭二百文さし出せば[illegible]にもとらず、御馳走[illegible]かりではあげられませぬ、[illegible]でもさし出されては[illegible]人事見來れば何事か滑稽ならざる[illegible]觀れば呵々大笑に値せざるもの[illegible]茶がりしたりな[illegible]先生『いでさらばまゐめし[illegible]と身を窶して浮世の中を飄げあるかん』（中略）大網和尙の『瓢の替歌』に曰く『[illegible]瓜の仁もなく西瓜の事を拂ふ德もなし[illegible]かれども、氣も輕く、中空うして[illegible]人も汝を友として酒を入れて腰に[illegible]胸を出して樂あり。汝[illegible]なり。汝、性は善なりさいふべし[illegible]なり、羽柴公の馬印となりて[illegible]にあはざるは智なり、飲を拵へて[illegible]とくらすやうでも[illegible]胸のあたりに[illegible]りあり』胸に一つのしあ括りあつて[illegible]苦樂に處す。これなくて、氣樂さうに[illegible]矢張り飯三杯。無紅モ矢張リ飯三杯[illegible]一寸先きへ跨。[illegible]正月八來ル[illegible]酒落のめしたとて今は其の三杯の飯さへ[illegible]ては食へぬ生存競爭、孔智幸い世の中に[illegible]かすと跨ぐも、正月は來れども越すに越されぬ人生の大晦日（中略）苦にあつて苦に囚はれず、樂にあつて樂に縛られず、苦樂を超越して人生を下瞰する此の綜括あつて笑ふて難事に處する餘裕も出づれば進んで苦境に入るの勇氣も出る（加藤咄堂）

移轉廣告
今般都合に依り左記へ移轉致候
京城本町二丁目八七（村上寫眞舘跡角地）
下村泰造
電話八六番

丹波栗
餘裕御注文迅速
[illegible]

新學期開講
[illegible]

會長 東京帝國大學教授 文學博士 服部宇之吉
講師 [illegible]
漢文講義錄
會則進呈
大日本漢文學會

會員大募集
[illegible]

寫眞 半額
龍山漢江通六番地
平田玉影舘

土地賣却廣告
一、京城府[illegible]町[illegible]番地 垈[illegible]坪
一、同府[illegible]
一、同府[illegible]
右[illegible]入札ヲ以テ賣却ス[illegible]
[illegible]京城黃金町壹丁目
辯護士 岡田榮

婦人界 十月號

萬人向きの婦人雜誌、

▼家計の立て方
▼月收七拾圓 夫婦と子供と老母と下婢の家族
▼月收五拾圓 夫婦と子供二人の家族、住宅は借家
▼月收參拾圓 夫婦と子供一人の家族、住宅は借家
食物費、衣服費、住宅費、教化費、常備費、臨時費、小遣ひ如何

◎婦人には愼みが大切…東京高等女學校長 棚橋絢子
▽婦人の浮つ調子や輕はづみを誡めた修養訓

◎流行を追ふ程度の問題…成女高等女學校長 宮田修
▽驚くべき流行の足と戒むべき婦人の虛榮虛飾

□女の保險勸誘員としての五年間…大同生命保險會社 滿口眞代子
□急病や怪我をした時の手當…女醫 藤井孝子
□夏物の始末と蟲干の仕方…女子高等師範教授 後閑菊野
□女羽織の仕立て方…成女高女教諭 上村ちう子

子供の着物は何が宜いか
▼簡易で衞生的な子供洋服…川瀨ドクトル夫人
▼發育を害せぬ和服主義…鈴木師範校長夫人
▼學校着にはむつばりを…吉岡女醫學校長
▼改良を要せぬ日本服…佐々木博士夫人
▼子供には久留米とネル…宮田高女校長夫人
▼私の考案したエプロン…村井外語教授夫人

◎不良兒を扱つて感じた子供の扱方…家庭學校副校長 小溝恒高
▽子供が不良兒になつた原因とさま〴〵の實例

◎轉ばぬ先に杖の用意………高野重三
▽家庭の生活に妻と夫の取るべき方針と心得

□上品で簡易な手内職（誰にもやさしい仕事出來る）…婦人記者
□中流婦人の外出着（どんな柄か、どんな色合か）…婦人記者
□髮の毛を美しく保つ法（拔け毛の多い人は殊に見られよ）…古宇田學士
□虫齒にさせぬ子供の齒（決して油斷してはならぬ母親の注意）…降幡學士

新世帶失敗記
◎引越蕎麥を二度くばる…靜岡みすゞ
◎知らぬ英語を書いて大失敗…岩代れい子
◎良人への仕返しがお客へ………稻子
◎皿不足を繪具皿で補ふ…伊賀千鶴子
◎戶締りしたが鍵を忘れた…横濱ゆかり

▼世帶道具の品々と値段（其一）
▽割合に値段の張る茶簞笥類…▽大工道具もなければ不便
▽一番數の多い荒物類…▽茶碗皿茶器類は安い
◎コーヒー紅茶と煎茶の入れ方◎水上に家庭を持てる人々
◎子供に聞かせるはなしの種◎レースで編んだ手提袋
◎身の上相談◎手輕なお惣菜◎小さな疑問◎諸國風俗

□長篇小說 野菊……巖谷小波
十二年間小說に筆を絕ちたる小波氏が特に本誌の爲に筆を執れるもの、氏獨特の筆と想と相俟つて波瀾重疊

□新講談 義士傳の女……白馬台隱士
大石瀨左衞門夫妻の水も洩らさぬ新家庭に時ならぬ風雨、主家の一大事、淚の中に一片の稜音を含める哀話

口繪
回雁の音（二頁大オフセット版）鈴木けん子（新進閨秀畫家の揃ける艷麗無比の美人畫）
□愛兒を抱いて□盛花の插し方□お見送□新世帶
□お祝ひ日□整理された臺所□うれしい□臺灣風俗

十月號 ▽定價拾七錢 ▽半年特別號郵稅共壹圓貳拾錢
▽郵稅壹錢五厘 ▽壹年同貳圓參拾錢

婦人畫報 婦人界 少女畫報 日本幼年 少年新聞
發行所 東京京橋數治橋外 東京社（振替四千九百番）（全國書店賣捌）

家庭日常の相談相手

○ア將軍辭職と後任

露國最高參謀總長アレキシーフ將軍はコルニロフ將軍の謀叛に加擔の嫌疑ある將校全部を參謀本部より罷免すべしとのケレンスキー首相の要求に同意する能はずとして辭職せりアレキシーフ將軍は他の經驗あり且つ熟練せる將校は直に補充せしむることは困難なりと感じ居れり尚前西南部戰線司令官チエレミソフ將軍はアレキシーフ將軍の後任として推されたり（露都電報）

○コルニロフ將軍特赦か

コルニロフ將軍に對するモビルフの臨時軍事法廷は終了せり、コルニロフ將軍は一旦死刑を宣告せられたる上多分特赦せらるべし（露都電報）

○カ將軍を叛亂罪に問ふ

臨時政府はカレデン將軍を以て叛亂を計畫せし犯人なりこ宣言し其の服罪を求めしため同將軍は哥薩克隊指揮官たる地位を辭する旨打電せり該哥薩克隊は右に付きて會議を開くべし（露都電報）

○法王の素志貫徹を望む

アムステルダム來電＝既電の如く羅馬法王の講和提議に關する獨墺兩國の回答は法王の手に到達したるが獨墺兩國は法王の素志貫徹を熱望して止まずこ（倫敦電報）

○南北妥協殆んど絶望

武昌にて傳へらるゝ所に據れば南北妥協殆ど絶望となり南北は愈々兵力を以て其の主張を爭はんとするものゝ如し（漢口特電）

○參議院召集令發布延期

臨時參議院召集令は二十二日若くは二十三日發布の筈なりしが南北妥協絶望の爲め延期せられたり（北京特電）

○先發兵士續々逃亡

支那歐洲出兵に際し奉天省より三千人（二十七、八兩師より）を先發することに決せしに兵士等は出征後虐待せらるべしと思惟し昨今逃亡する者多し（奉天特電）

觀瀾亭雜俎　蘇峰生

○諺に旅は道連れ、世は情と云へり。個人間には、尤も服膺す可き金言也。されど國際間には、未だ斯る金言のみ恃みとす可らず。賤ヶ岳の激戰に際して、最も骨折りたる中川瀨兵衛は、只だ打死の役目を遂げたり。山崎合戰に於て、秀吉が陣中より『瀨兵衛大儀』との挨拶さへも、今は聞を得ざりし也。○均しく味方と云ふも、墺は獨に致され、佛は英に致されつゝあり、是れ強弱の勢、殊なればぞ也。如何に仲間なればとて、弱者が強者に致さるゝは、殆んど先天的の約束と見て差支なし。是れ面白からぬ次第なれども、事實なれば致し方なし。

○我が日本海軍が、英國海軍と協同戰爭に從事し、自から背後に隱れて、其功を讓りたりとは、外紙の頻に讚美したる文句也。若し此の文句が、『瀨兵衛大儀』の一句に値ひするを得ば、望外の大幸ならむ。無暗に慈善家の夸稱を上ぐれば、借金の催促さへも出來ぬ事多し。

○世の中に成る間敷きものに、小國と弱國と也。敵より蹂躙せられ、味方より驅使せらる。勞は他にして、報は他の半にだも及ばず。苟も大義を四海に布かんと欲せば、我が發言を有力ならしめざる可らず。有力ならしむるの第一歩は、唯だ強大國と成るにあるのみ。是れ擧國民の努力を要する所以也。

○朝鮮製紙　創設計畫決定　王子製紙增資

王子製紙會社にては十月一日より新株未拂込金一株に付十圓宛百二十萬圓を拂込ましむ可く決定し其の終了と同時に現資本額の倍額增資を實行し同時に鴨綠江森林材を原料とする姉妹會社たる朝鮮製紙會社を急遽創設すべく決定せり尚今回增資の新株式は重役株主に割當て一般に公募せずと（東京特電）

◉拓債成績　三島鮮銀理事談

京都に疾病を養ない全癒後東上中なりし鮮銀理事三島太郎氏は二十三日午後九時南大門驛著列車にて

▲三箇月振り に歸京せり出迎への記者に對する車中の談片に曰く臺灣銀行と鮮銀にて引受けたる東拓發行第三回債券一千萬圓の內地に於ける景氣は先づ普通と稱するを當れりとすべし何分利廻り年六分二三厘に付其位の利廻りなれば外に投資物件も少なからず財界の人氣を覓むるまでには至らず唯大口申込みも可なりあり又該債券は現物引受け團に有力者多ければ締切りの成績は目下の所鳥渡見當立ち難きも相當の所に達すべきか更に近來米價騰貴のため

▲土地會社 たる東拓は其の經營內地有力筋にも有望視され居り又會社法の改正、幹部の更迭等は各方面の氣受けを往年に比し大に革めし觀なきに非ざる如し又滿洲に於ける東拓の支店は當分大連奉天の二箇所より設けざるものゝ如く其他の各要地にては鮮銀の支店出張所が東拓の不動產貸付代辨をなすやう略ほ談合は成り居れども未だ契約書の取り交はしとまでは進み居らず、但し何れ其の內正式の取極めをなすに至るべきか過日山成臺灣銀行理事の鮮滿經由支那に向ひしは各方面視察のためにて傳へらるゝ如く

▲日支爲替銀行 の用務に非ず、爲替銀行は尚ほ交涉中にて其の成立までには若干の時日を要し現今の所日本財團の代表者が公式に北京乘込みをなすごとき時期には未だ達

商品擔保貸高

中に於ける鮮內銀行業者の商品擔保貸出高左の如し

▲朝鮮商品 朝鮮產品に對する貸出高は倉庫業者の保管に係るもの百四十二萬二千五百二十圓現物保管に係るもの二百七十八萬六千二百九十五圓合計四百二十萬八千八百十五圓にして前月に比し五十二萬四千百十六圓を減少せり

▲輸移入物品 輸移入品に於ては倉庫業者の保管に係るもの百三十七萬二千七百六十一圓現物保管に係るもの二百八十萬五千二百三十八圓合計四百十七萬七千九百九十九圓にして前月に比し百八十八萬五千四百三十八圓を增加したり

▲貸附合計額 商店擔保貸出高合計は倉庫業者の保管物二百七十九萬五千二百八十一圓現物保管物五百五十九萬千五百三十三圓總計八百三十八萬六千八百十四圓にして之を前月に比すれば前者に於て六〇四、八五八圓後者に於て七五六、四六四圓計一、三六一、三二二圓を增し又た擔保物總貸出高五千九百三十七萬九千八百五十圓に對する商品擔保貸出の割合は一割四分一厘を示せり

◉仕拂手形膨脹

滿洲に於て朝鮮銀行が發行しつゝある補助貨代用の小額仕拂手形は最近同方面に於ける補助貨不足のため市場の需要激進し居れるも一方印刷力に制限せられ其の發行も著しき增大を見ざるも漸次膨脹の傾向あり二十二日は二十四萬圓を超へたりと

◉海溫俄然低下　內鮮共に新記錄

今年は盛夏期に至りて海溫に異常の變調を來し內鮮共に水溫殊の外下降せり、即ち對島大舟越にて實測せる處を昨年に比すれば七月中旬に在りては寧ろ高溫を呈し居たるに同月下旬以降は頓に反對の現象を來し又た八月上旬福岡縣にて施行せし横斷觀測も全然同一の結果を齎らせり依て長崎縣に於ては尚ほ進むで之を精査す可く內地各縣並に朝鮮に對して連絡調査を依賴し來れるが朝鮮に在りても各地に亙りて夙に觀測を開始し居り殊に連絡調査區たる迎日灣鬱陵島間横斷觀測の如きは昨年五月より每月之を施行しつゝあるが同觀測の結果は朝鮮に於ても本年は亦た新記錄を呈し各地とも水溫大に低下せる中にも慶尙南北道沿海は此の傾向殊に著しく七月中旬より八月中旬に亙る盛夏期を前年に比するに釜山沖合に於ては七月上旬は約三度の高溫を見たるも八月上旬より俄然下降して水面二度水底四度の低溫となり釜山港口に於ては七月上旬は水面二十一度七分を示せしに八月中旬は十九度一歩となり又た元山沿海に在りても八月上旬は二十度七分なりしが八月下旬となるや忽ち二十二度七分を指すに至れり朝鮮側の觀測に依れば這は多分オコツク海より宗谷海峽を經て日本海に入りたる寒流の勢力猛烈なりし爲め本年は例年に比し此の寒流ヨリ多量に南下せしに因るものと爲し居れり其の眞否如何は現に施行しつゝある海洋觀測の進捗と共に遠からず闡明さる可く之れに依りて與ふる水產上の效果鮮少ならざるものある可し

◉新設機關銃隊兵舍

今回全國に於て十個中隊を新設さるべき機關銃隊の中一個中隊は羅南步兵七十三聯隊に附設さるゝ事となりしが同兵舍は本年中に竣工せしむべきものにて本月上旬龍山に於て請負入札に附せるが工費約六萬圓也と

◉政務總監歸任

東上中なりし山縣政務總監は隨行の遠藤秘書課長並に途中まで出迎へたる横井京管局長時永鷲尾兩總務課長同部本社長等と帶同廿三日午後九時南大門驛著列車にて歸京せしが停車場には各部長官局長課長朝鮮貴族及び銀行會社重役等官民多數の出迎ひありたり

◉幣原博士入京

朝鮮教育事情視察中の廣島高等師範學校長文學博士幣原坦氏は南鮮各地を巡廻の上二十三日午後九時南大門驛著列車にて入京朝鮮ホテルに入りしが約一週日滯京の筈なり

◉國分次官動靜

李王職水原牧場及び華山森林視察中なりし李王職次官國分象太郎氏は補闕事務官、岩崎係を隨へ廿三日水原發金浦李王家植林狀況視察を爲し二十四日京城に引還し二十五日黃海道帝釋山御林地の視察を爲すなり

◉中野警務官青島行

警務總監部保安課長警務官中野有光氏は陸軍省用務處辨の爲め二十四日午後九時四十分南大門驛發青島に赴くべし

◉西崎南浦會頭著發

西崎鎭南浦會議所會頭は其の經營に係る八幡製鐵所供給鐵鑛石に關する要件を帶び東京及び九州地方旅行中なりしが廿三日午後九時南大門驛著列車にて入京浦尾投宿二十四日午前九時十分發列車にて歸南する由

◉德富氏遊支旅程

二十四日夜京城出發

本社監督德富猪一郎氏は二十四日午後九時四十分南大門驛發列車にて支那內陸視察の途に上る筈なるが隨員は國民新聞社長秘書山崎猛氏及び同社記者王子武四郎氏等にして一行は約二箇月の豫定にて南北支那を巡遊する筈なるが京城出發後二十五日午後六時三十分奉天著、翌二十六日及び七日の兩日は奉天に滯在し、二十八日長春、二十九日吉林に赴き、三十日引返して長春に歸り、十月一日哈爾賓に著し、二日は同地滯在、三日午後出發大連に直行し、四日夜大連著、五六兩日同地滯在、七日營口に到り八日山海關に赴く豫定にして其れより天津、北京を經て京漢線により南下し更に楊子江沿岸を下りて途中沿道を視察し上海に出で更に津浦線により青島に到り同地より歸路に就く筈、何分病後靜養旁々の旅行なるを以て旅程は場合により變更するやも知れず殊に德富氏は過般熱なる赤痢に罹り快復後間もなきことゝて主治醫の勸めにより旅行先に於ける各地の歡迎會又は演說會等に列席は絕對に謝絕す可し

□定例休刊

二十四日は秋季皇靈祭に付同日發行の夕刊並に翌二十五日發行の朝刊は定例休刊す但し其の間重要事件勃發したる際は號外を以て報道すべし

人事消息

▲古川治氏（代議士）廿三日夜入京朝鮮ホテルへ
▲石渡信太郎氏（[illegible]）同上

□百聞百種□

例の騷動は於ら和蘭公使館にいつもとして居られなくなつたと見ね▲昨今何とかして逃げ出す工夫はないかと頭を捻つて居たが▲百萬圓出すから海外へ連れ出して呉れるものはないかと募集した▲或る日本人がヨシ來たと引受け飛行機に乘せて日本へ連れ出す計畫中だと北京での評判▲流石諸言百出の本場丈けあつて思ひ切つた處は頗白い▲早稻田騷動の際革新運が革歌や校歌を高唱し乍ら附近を練廻つた時▲病床に隈侯が聞き咎め『アレは何だ』と家人に問ふた▲病臥中の侯へまさか騷動だと打ち明ける譯にも行かず大弱りで▲『閣下の御病氣がお宜しくなつたから學生がお祝の行列を催して居るのです』と一時のお茶を濁して置た▲處が騷動は次第々々に大くなつて每夜太鼓を叩いたり校歌を高唱するので侯も聊か不審に思つて、▲『あの物音は』と繰返して問ふ其內病氣も輕快に赴きソロ〳〵新聞でも見る樣になつて▲初めて騷動を聞て『うゝむ……』と例の通り口をへの字に結んで無言であつた相た▲隈侯と云へば病氣は最う好けれど床上の祝はまだ催されない▲處が例の氣質の侯であるから戶外の空氣に觸れたくて我慢し切れない▲やつとお出入りの指物屋に命じてソファに四輪車を付け皆で庭へ押し出す▲隈侯其の中から笑顏を上げつゝさも愉快相に『工合がいゝんである』と大欣び▲除り長くなると却てお身體の毒ですと云つても『醫者が大丈夫と云つたもつと押せ〳〵』▲何時も駄々を捏ねるので一同も閉口して居ると

十月一日より三日まで三日間

冬衣新柄大賣出し
よせぎれ見切反物

京城 三越呉服店

平壤栗著荷
平壤栗 雜穀物問屋
㊐ 日鮮商會

洋 鐵 鋼

京日案內

◉店員入用 十八歲より廿五歲迄 山本商店 582

◉店員入用 年齡廿歲前後市內確實なる要保證人 希望者は本人來談あれ 龍山鐵道前 村田果物部

有給外務員採用 但し廿五歲以上 京城黃金町一丁目 國民□產株式會社 604

大募集 東京淺草駒形 566

◉店員入用 市內に保證人を要す本人來談の事 本町一丁目北 內商店 598

競賣家屋 所在南大門通五丁目 電話四五五番 本町 釘本商店

醫師 姓名在社 506

新古金庫 特に販賣及購入 京城黃金町三丁目 電話長二一一番 室商店 507

恩給 年金 即時 京城南大門外 山口屋 509

魔法瓶 中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 513

礦物定量分析 朝鮮公論社 太平町二丁目 電話長三四四 坂元分析所 558

○蒙匪南下獨立企畫

○許蘭洲奉天に不著
黑龍省の許蘭洲氏は二十二日奉天に着する筈なりしも途に來らず或は[illegible]

鳥致院の面長問題は未だ解決せられず隨つて相談役の件も頓に悩み居れるが要するに此は郡當局の手にては奈[illegible]

組合議員の出席せしは稻永、今村、辻川の三氏のみ他は出席せざりしより到底妥協の見込なし[illegible]

となり其他支那人の貯金爲替等に對しても亦大いに便宜を計る事となしたりと（吉林）

に關する事務の講習會を開催したり▲測量手採用試驗 忠北道に於て過般來募集中なりし林野調査從業員の[illegible]十名を採擢すしと▲中央塔修繕 忠州邑の西方約二里なる漢江な岸に近き中央塔は新羅朝時代の遺物にて國寶に編入せられあるものゝ由なるが近時甚だしく傾き今にも倒壞せんとし[illegible]が工事請負入札を忠北道廳に於て行ふべしと▲堤川道路工事 忠州堤川間二等道路開鑿工事は本府豫算の關係工事の困難等のため一時中止の姿なりしが同線路中の最難工事なる朴[illegible]

軍ご連絡を取り…旅團…を企畫して滿蒙各地を横行し始めたるより支那官憲は狼狽し居れり（長春特電）

●敵も味方も戰に慣れて來た
◆世界を敵として闘つてゐる獨逸は實際強い◆
支那の歐洲出兵は到底行はれぬ
陸軍歩兵大佐　津野一輔氏談

青島、天津、北京、奉天、大連を經て入京したる陸軍省軍務局軍事課長陸軍歩兵大佐津野一輔氏は廿三日午前八時三十分發列車にて歸りの途に就きたるが列車中の談片に曰く

支那が歐洲に出兵すると云ふ事は予輩の滯京中は聞かなかつた第一支那は兵を歐洲に出して獨逸を征討すると云ふやうな狀態に在るであらうか國內安靖平和にして

●其の武力を外へ●
延ばすと云ふが如き國家隆昌の時であらうか之れは言はずと知れた話である支那の歐洲出兵と云ふが如きは多分風聞子の說に過ぎないと思ふ、或は支那兵が歐洲に送られて後方任務に當るやうな事が無いとは云へぬ而し聯合國軍隊の後方に在つて糧食彈藥の運搬に任ずるが如き事は出兵とは言へないであらうそれは單に所謂勞力の供給であり支那自身に取つて云へば

●苦力の出稼ぎに●
過ぎない殊に支那軍隊の性質から見て然りである、歐洲の戰報を見れば聯合軍は頻りに大捷を博して居るに拘はらず其の結果は捗々しからぬものがある吾々の接手する戰報は何れも聯合國側から發したもので所謂片面的訴訟を聽いて居るやうなものだ獨逸側の戰報が盛んに來れば比較して其要を摑む事が能きるが獨逸側の戰報は悉く押收されるから吾々の手には滅多に這入らないから

●戰の眞相は容易●
に判斷する事は能きない而しながら今や獨逸が豫想外に強く世界を敵手として戰ふに足る程の強國であると云ふ事が世界の隅々まで承諾される事となつた現に聯合軍側で稍々戰の經過良好なるは西部戰線のみで其他は何れも聯合國側の爲めに樂觀すべきものはない獨逸は重圍の中に陷り弱る丈は弱り苦しむ丈けは苦しみ縮收し得るだけは收縮して終つた之れから

●眞に獨逸の強さ●
が幾分かづゝ反撥的に持上つて來る時だ夫れと同時に聯合國の方も戰は上手に成つて來る第一英國などは今度獨逸から戰の仕方を敎へられたわけである貧弱國では他國と戰ひながら戰の仕方を習ひ込むと云ふやうな事は能きないが英國の如き富國にして領土の廣い國では夫れが能きる最も之は今に始まつた事ではない、歐洲の國はナポレオンに征伐されだ時もヤーレス十一世に征討された時も初め一二年は連戰連敗した

●國內深く逃げ込●
んだが其の內に戰に慣れて遂に敵を打破つて國外に擊退した而し日本などの國情からは決して學ぶべからざる法である、今回の戰で聯合國勝か獨逸勝かは未知數である少くとも敵味方の戰報を接手して判斷しなければ戰の成行さへも想像する事が能きぬ而し獨逸が世界を敵として戰ふに足る程の強國である事だけは證明されて居る

●拳銃を發射して警官を傷く
去る二十日午後九時四十五分頃東州三十里堡驛にて詰合の渡邊巡査が擧動不審の支那人三名を取調べ中支那人中の二名は各突然拳銃を取出し同巡査及び傍に居合せたる同村壯丁朱文德に向つて發射し巡査は腹部及び太腿部を撃たれ壯丁は腹部に彈丸を射込まれ兩名の倒るゝを見て曲者は逸早く逃亡せしが二十一日右の兇漢と思しき者三名普蘭店管內へ姿を現はせるより同地の警察にて包圍せし處三名は拳銃を發射し抵抗せるを以て警察隊も發火應戰の結果兇漢二名を斃し一名を逮捕したりと（大連）

●脫稅收賄罪嫌疑者拘引
吳服店支配人及び稅務吏員

大阪道頓堀石川吳服店支配人渡邊松三郎及び南稅務署吏員古田進は脫稅及び收賄罪の嫌疑にて拘引されたり（大阪特電）

●四十餘名中毒
電車々掌鳥貝を食して

二十三日京都市にて電車の車掌多數鳥貝を食し四十餘名中毒せるが時節柄大騷ぎなりし（京都電報）

●白川組差押らる
大田方面の債權者より

京釜線大田沃川間鐵道改修工事を突然中止して其の行く方を晦ましたる白川組事白川友一氏に對し大田地方の債權者は二十日金二千圓の供託金にて公州地方法院大田支廳に於て鐵道改修工事材料其の他の差押へをなしたり（大田）

●セルロイド會社爆發責任者處罰
三國セルロイド會社爆發責任者は罰金五十圓に處せられたり（大阪特電）

◇鳩ポッポ!!鳩ポッポ!!
〔京城幼稚園の此の頃、可愛らしい朝鮮の子供〕

●前列の端は京口女史、中央の洋服は李鍝公殿下●

◇パゴダ公園の裏手、京口貞子女史の創立經營になる京城幼稚園は、可愛らしい朝鮮の子供達を育成して居ります。園生の中には今年李埈公殿下のあとを嗣がれた李鍝公殿下から李王妃殿下のお妹子も居られます。只今の生徒は五十名、これまで卒業した人は三十名ばかりあります。

◇それに近頃では內地人の子供までも通學して互に仲よく勉强して居ります。また朝鮮の子供達の中には內地人と見違ふばかり純內地式の著物を著た人も居ります。國語はみんな內地の人と異りなく唱歌もうたへば先生の修身のお話しもわかりますみんな眼元の涼しい坊ちやん孃ちやんばかりです

◇卒業生の多くは日出鍾路等の內地人の小學校に入學しますが何れも優等生でよく出來ます。平素の躾はみな內地式に敎へられますのでみんな怜悧な可愛い子になります。國語の發音も唱歌のおかげで美事になり、顏つきまでだん\/內地の子供に似てゐます。入學當時は皆の發音がみな『ウ、ザー』になつて大笑ひださうです。園生は禮儀の厚いことが何より眼立ちます。

◇　◇　◇

●秋雨冷く降る日
龍山瑞龍寺に於いて——
武田範之和尚七周年の法要
朝鮮併合の隱れたる功勞者武田範之和尚逝いて七周年、秋雨冷たく降る二十三日の午後三時半から和尚墳墓の地たる龍山護國山

▲瑞龍寺　に於いてその追弔法要が營まれた、發企する者參する者何れも生前故人と親交あり知遇を受けた人々、曹洞宗別院の高田顯識老師導師となつて參列衆の讀經あり、役僧の打鳴す

▲點鐘に　連れて三度拜跪の禮を行ひ參會者小幡虎太郎氏松村重治氏以下靈前に進みて燒香を終れば更に和尚の配下にして和尚の墓側に眠る故友枝英三郎宇士照藏氏の爲に讀經拜禮友枝氏未亡人以下參會者の

▲燒香が　あつて法要を終り別室に齋の饗應があり故和尚を語り合つて四時四十分散會したが此の日參詣者は數に多いとは言はれなかつたが故人と生前莫逆の間であつた故李容九氏の遺子が殊勝げに燒香してゐた事や

▲和尚の　贔負を受けたといふ淸華亭の女將が三太や仲居のおかつと共に早くから詰めかけてゐたのは人情紙より薄きを以て常とされてゐる此の社會には稀らしい志として地下の和尚は喜んだことであらうと思はれた

●吉林朝銀發展
吉林朝鮮銀行支店は今回營業發展の目的より一般支那人に對して信用貸しを爲す事

○面長問題行悩
第一部長は二十二日午後九時島致院に來り二十三日早朝より學校組合議員を招き種々懇談する所ありたるが

…北道にては二十一日より六日間管內各郡面事務實地指導の任にある郡書記各一名を召集し新面制諸例規適用…

…二十餘名に達したるより二十二日午…於清州公立普通學校にて之が採用試驗を行ひ成績優良なる者より順次五…

…本村から…道路改修工事を行ふべしと▲清島間道路入札　清島間二等道路線中昨年の水害を被る中茶屋附近一哩餘の道路は今回線路變更せらるゝこととなり來る二十六日之…着手する事となり其他も近々更に着手する筈なれば明春若しくは秋季に於て全部の開通を見るに到るべしと

岡田とき（二）は去る七月七日夜泥醉し魚市場附近にて同里の崔姓女の頭髮を摑み引き倒して手を以て散々擲り付け尙金槌は擢の自宅に行き擲り付け疾病休業一週間を要する傷害を與へたる爲め告訴せられ取調べの上檢事局へ送らる

●鮮人傷害致死罪　慶南泗川郡邑內居住香川縣人木下由太郞に係る鮮人傷害致死罪は十八日晉州支廳にて公判開廷立會ひ新藤檢事は懲役二年の求刑をなし辯護士よりは無罪の辯論ありしが言渡期日は未定なり（晉州）

●橋から落ち溺死　高陽郡松
浦面法事里黃聚秀（三五）は去る十一日夜來行衛不明となりたるより家人及び里民等は行衛搜索中十八日同里漢江の支流中に屍體となりて浮流し居るを發見し一山派遣所より憲兵出張檢視せしが同人は十一日午後八時頃一山市場にて飲酒しての歸途橋を踏み外して遂に溺死したるものの如く死體は家人へ引渡さる

●夫婦斬りの賊　全北扶安郡
扶寧面東中里雜貨商大西淸左衛門（五三）方に九日午前二時頃曲者忍込み寢室に闖入して主人淸左衛門を揺り起し金品を提供すべく迫りたるも淸左衛門は反つて賊を捕縛せんとしたるより携へたる出刃を揮して淸左衛門及び內縁の妻高島コト子（二〇）の兩人に斬りつけて逃走したるが訴へに依り所轄茁浦署にては八方に手配し嚴重搜査中十一日午前五時全南靈光郡白岫面吉龍里林敬彥方に潛伏中なる犯人らしき鮮人を靈光署にて逮捕し取調べの結果此者は扶安郡東中里居住萬頃長男李長壽（二〇）にて前記の賊なる旨自白し尙他に共犯者ある見込みにて嚴重取調べ中なりと

●信書を破棄す　京城淸進
洞安千龍（二）は本年四月より九月迄光化門郵便局に配達夫として勤務中宛名人の所在不明なりとて信書數通を破棄し尙唐珠洞金定憬宛の信書を破りて在中の爲替劵一圓八十錢を窃取したること等發覺して鍾路警察署に檢擧されたり

●橫領店員　元山旭町三丁目金
光酒造會社に雇はれ中主家の賣掛代金七百二十七圓餘を橫領して遊興消費したる兵庫縣生れの大谷直次（三二）は去る十四日咸興地方法院に於て懲役二年の判決を受けしを不服として京城覆審法院に控訴したり

●夫婦で撲る　咸南咸興郡咸興面豐
西里居住大工山田金植（四七）內縁の妻

うわさのうわさ
▲今秋は幸にコレラがなくて助かつたが毎年傳染病に恐るべきは鮮人漢法醫者ださうな▲從來警務總監部に於ても鮮人の國手には手古摺つて實に閉口頓首の有様だ▲なぜかと云へば鮮人の漢法醫者に限つて傳染病患者を隱匿する者が多く患者も亦消毒を來ないからとて此の方をよろこぶ▲お蔭で病人はコロ\/死亡し病氣は益々擴がるといふ次第全く之には弱つてゐた▲然るに朝鮮の漢法醫さん達も近來は覺るところあり昨今は鍾路の德濟病院に新醫術の講習に出かける▲現に龍山のさきの西氷庫からも昨今七十幾歳の老先生が毎晩徒歩で聽講に來るといふ有様、これからは餘り怖がられまい▲最近の本町の古著商淡路屋の前でもとの花月の玉龍とかいふのが伸からコロリと逆轉宙返りを試みた▲折から通り掛つた玉龍の舊知がいふとには『蕎せ……』の日中からダンスの稽古は早からう▲四方の慈善家から金品を寄附された哀れなる石川彌三郞は遂に死んだ遺族はこれまでの温かい同情を蔭から拜むで感謝してゐる

桑港萬國博覽會金牌受領

愈廿二、廿四兩日開催
賜李王殿下御覽之榮
世界唯一　大仕掛
三河煙火大會
三河は從來德川家康と三河煙火を以て全國に有名なり
延長數百尺にわたり千變萬化極りなき大仕掛煙火數組其他特有金魚、銀魚、紅葉、亂玉煙火數千發
會場　京城訓練院
主催　愛知縣煙火獎勵會
後援　愛知縣人會

金牌受領
男女頭髮用（ネックびん附入時代流行）
本椿ポマード
本椿香油
本舖　大阪西横堀　三宅堂

くだりはらの氣持よく止まる
健胃固腸丸
大阪　谷回春堂
定價　十錢　廿錢　五十錢　一円　三円　五円
食傷、寢冷、時候あたりより起る下痢と腹痛を治す
●用い易き小粒製健胃固腸丸あり
●小兒には特製の小兒固腸丸あり

灸術專門開業
あつくなく灸のあとに形もつかずして總ての病に施灸す
灸料初回金五十錢次回より四十錢
但貧窮者には無料
京城本町二丁目卅四（山本材木店前）
伊藤灸術專門院

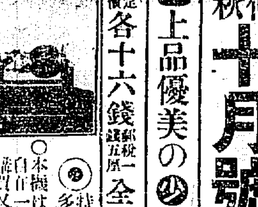
大阪屋號書店

最新刊
理論電氣學 第二卷	水野敏之丞	四、五〇
淺川工業學士 紡織原料學	大住吾八	一、八〇
實用曝買論	久米義雄	二、五〇
大藏經要義 卷四	本多日生	一、八〇
能の見方謠の聞方	池內信嘉	一、八〇
大庭柯公著 露西亞に遊びて	定價二圓	
最新社交術	樋口丑吉	七〇
箇中の樂地	釋宗演	一、〇〇
最も簡便なる理想の珠算	有(?)上鍊之助	七五
資金運用論	興吾(?)李太郞	九〇
校風漫書	近藤治一路	八〇
最新研究野球術	和田六瀨子	七五
雲のゆくへ	大町桂月	七五
三百六十五日 毎日のお惣菜	櫻井ちか子	七五
新案料理法	若林錶	八〇

東京　時事新報社發行　二大雜誌
痛快無比の少年
仲秋　十月號出來
上品優美の少女
定價各十六錢　郵稅一錢五厘　全國書店

少年　少女

短期速成　建築科講義錄
新學期開始—會員大募集—僅か一ヶ年にて建築の奥義を極む—講師は斯界の當代大家—會費は低廉比なし—講義は平易明瞭にして實用的也—見本及規則書申込次第進呈—此際の入會者に特典あり
東京市麴町區飯田町三　帝國工業教育會



特許　多田式　製繩機　外に特許風車石反精製機あり
○本機は最新式のものにして製繩完全太細强弱自由自在一日一萬五千尺の製繩能力を有す
購買又は特約店希望者は御申込あれ
朝鮮總代理店　合資會社　石原商會
主　石原磯次郞
新龍山　電話（龍山）七二

法學博士　山崎覺次郞先生著
全一冊　上製金一圓八十錢
經濟原論
好評嘖々忽再版
本書は山崎先生が多年經濟學の全部に涉り前明流暢の筆を以て第一編論より生產、交易、分配、消費の五編を完む…
銀行論　正價金七十錢
東京神田　有斐閣

柄さま\/の冬物地
今が御買上の最好機會

拜啓
時下秋冷之候益々御多祥奉慶賀候
毎々格別の御懇情御引立を辱し感銘の至りに不堪候扨て七月以來は絹綿布共に原糸の狂熱的奔騰により何品共暴騰に次くに暴騰を以而し那邊に昇騰する哉其底止する處を不知有様に候處幸に今回物價調節令の發布に伴ひ俄然原糸の崩落により急轉直下さしも強硬なりし織物界も今や暴落を演出するに至り弊店は此際斷然值下を決行仕り物價調節の趣旨に從ひ極力安價に提供仕り聊か平素の御恩澤に酬ゆる精神に御座候冬物全部品揃ひに相成候に付何卒多少に不拘御用命被仰付度偏に奉希上候　頓首

京城本町一丁目
三中井呉服店
電話三七番・振替京城五二四番

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第廿五回 先陣爭ひ(一)

八月二十一日の日は暮れて、枇杷島の背の葉を吹く風が、淅瀝と濠の邊の枯葉に傳ふ、大手の門から食み出して、一萬餘人の軍勢が勇ましく列を作る、月はまだ出ず、宵の明星のひらめく下に、劍戟がきら〳〵する、眞先には正則、その次に池田輝政の軍勢が出る筈である

正則の手に付いて、下流越の渡を越さうとする所謂搦手に屬する大將は、細川忠興、加藤嘉明、黑田長政、藤堂高虎、京極高知、田中吉政、生駒一正、寺澤廣高、蜂須賀豐雄、井伊直政、本多忠勝の面々で、總勢一萬六千餘人と註される

この勇ましい出陣の樣が見たいといふので、初瀬は前栽の物見窓の下に立つた、搦洩した小袖の蔭に可愛らしい菩薩が居る

『もう御出陣ぢや、大將の御出陣ぢや、和御寮も餘所ながら拜まうぞや』

菩薩は可愛らしい面して頷く

貝鉦が鳴り響く、旗さし物が搖ぎ動く『御出陣ぢや〳〵』と云ふ聲が彼方此方の暗を縫つて聞こえる

初瀬が菩薩の手を引いて、物見窓へ掛らうとする時

『御寮こゝにか、嬉しや御目に掛ることが爲きた』と云つて背後から走り寄る者があつた、驚いて振り返ると、それは大崎三左衞門であつた

初瀬は及を抱いたように溶りとする、最も無言

『初瀬どの〳〵』と暗い間を隙し見て『三左衞門ぢや』

『おゝ』と云つた初瀬の咽喉は鸛巽に詰まつた

『和御寮の面を見ようとて、何れ程か暗を射たか知れぬ、されど縁が盡きねばぢや』今といふ今、圖りなく目に掛る

初瀬が暗の庭を遁れ出て、只一人物見窓に掛つたのは、正則の勇ましい樣を見やう爲めでも無く、諸大將の軍容を拜まうとするでも無く、只一人見たい人があるからであつた、松尾清之丞が小具足に身を堅めて、正則の馬脇に裨と添ひ、忠義の光りを輝かして出て行く姿が何の樣に勇ましいか、何の樣に凛々しいか、それが見たい爲めであつた、そこへ名を聞くさへ面白からぬ三左衞門が忍び寄つて、馴々しく言ふのを義理にも厚意で迎へることは爲きなかつた

『三左衞門樣、今度のお供にもお外れでござりまするかな』

『滅相もない、我君大事の御罪に、お供せいで爲りませうか、まあ御覧じませ、この樣に痩せ窶れた、長の病氣がまだ十分ではござらないを、押して出陣と覺悟した、これを御覧じませ、この痩を御覧じませ』

『お手柄を爲されませ、相手は名に負ふ石田殿でござります』

『おゝ、よく仰せられた、手柄して歸り申すぞ、幸に命あつて凱陣すれば、その時は幾廻かの感狀を土産に致すぞ』

『お待ち申しまする』

流石外らしては云はぬが、初瀬の心はこゝになかつた、物見窓からちよい〳〵と外面を見る

『時に御寮、いつぞや道齋に托けした心の丈を、御覧下されたでござらうかな』

『いゝえ』と初瀬は強く云つた

『御存じない?、あの玉章を御覧がない?左樣な筈は無い筈ぢやが』

『貝が鳴りまする、大將の御出馬でござりまする、後れては御恥辱、匆々お越しなされませぬか』

『いや〳〵、和御寮の色好い御返事を聞かいでは、出陣も爲し難ねる、君へ忠義盡すのも、和御寮の心が得たいからぢや、一たび戰場へ出向いては、一時の間も計られぬ一命ぢや、滿足させて下されぬか』

三左衞門は云ひ難さうに云ふ、初瀬は返答のしようもなく口を噤む

自慢の珍柄
京城本町 あゝ屋 電話八九〇番
冬物品揃ひ

栗、鳴子 —五の日十の日會—

○ 浮碧樓
栗の毬ばかりを踏歩き栗の樹鳴る
少し酒を呑んでゐる鳴子を張り

○ 坡柳
栗なやましく垂れ流れ張し
いち〳〵うなづき鳴子見はるかす

○ 黄丘
黍鳴子が思切り高い朝晴
山栗の不揃な粒を掻き廻はしたり

○ 田柿
蝕栗探し出されては干さるゝ
肩を歪めて鳴子小屋に踞らうきたるや

○ 華虹
栗を燒く新聞小説のつゞき
遠くで鳴子が鳴る摺白重ね回り

○ 句平
思ひ切り鳴子を引き晴々した氣ち

○ 鳥堂
山波平らかに鳴子綱亘れり
栗毬ふますなれば眼下にある停車場

秋燈對坐吟 —靜軒居にて—

○ 靜軒
夕顔の花おくれ咲きそゞろ寒し
陣が鳴くよ二人で句を作ろ

○ 目池
今朝の秋人々と馬など行く
相下らずして夜を深うし秋の聲

新刊紹介

▲●京城商業會議所月報(二〇) 二十錢 京城商業會議所

▲●英語短篇選前文研究(リニアンサツツ著)英文の外獨逸文とも對照しあり學生は勿論一般人の便利此の上なきものならん(一部八十五錢東京日本橋區本町三博文館)

▲日本少年(十月號) 三色版にオブセツト版寫眞版表紙口繪共に美事なり大島大將の『負傷を秘して奮戰』湖川博士の『花と散つた吉川經家』少年小説『母の手紙』『戰報』『笛の音』野球小説『初陣』冒險小説『生涯の選來』怪奇小説『少年博士』歴史小説『恐怖中言』其他芳水の長詩、滑稽ポンチ、新劇に次ぐに佐藤中將の『四十二糎砲の話』大森博士の『日本三大地震』(十三錢東京・博文館)

▲婦人界(六の一〇) 婦人の良師友、好評供なり就中く懸賞懸家計の立て方子供の著物は何が好いか其他主婦の心得可き家計及び衣食住與に教育上生活上或は行儀作法上の事柄色々爲になる事や面白き話を滿載せり(十七錢東京・橋區町一東京社)

讀者の領分

訓練院の東公園は西洋式にポプラやアカシヤの如ふな成長の早いものを密植したら面白からうと思ひます吾々も純日本式の佳致に富んだ庭園作りを最も尊重する一人ですけれども先づ速成的には洋式に限ります(獻栗生)▲詩洞入口の菊水湯には『朝鮮人の入浴を拒絶す』と大書した寒冷紗の立札を門の入口に立てゝあるがこんな不心得な連中があるから日鮮同化の妨害になるのだ朝鮮人だつて立派な相當の人ならば入浴させたつて差支ないではないか(目撃生)▲或る教會で或日の晩牧師某より牧師グランド氏の宗教界に身を投じてから生涯の大略を聞かされたが實に同情に堪へなかつた其牧師とグランド牧師との非常識なることを知つた時に大恩ある母を慰め最愛なる我子の看病をして居ては信仰は出來ぬものであらう我信仰のためには父母も妻も最愛なる我子も皆捨てよと教ゆるのが其宗教の精神であらうか父母や妻や我が子を己が所有物の如く考へてゐる甚だ誤だ『今や斧は樹の根に置かる故に善果を結ばざる樹は切られて火に投げ入れらるべし』アーメン(基督生)▲蘇島農生へ本紙掲載の『簡易な椎茸の作り方』の中にある栗又は椎栖の丸太は比較的古いものであるは老木の生木か枯木の古木かに就ては植物通に照會中に付暫く待たれ度し(係)

登錄商標
龍
景品附 大賣出し
醬油
京甕酒醬油 雜貨店にあり
日本醬油株式會社 京城出張所・電話二四五番

軍隊毛布
二度と見られぬ破格の毛布
季節はずれではあるが本社が陸軍の軍隊防寒用毛布の注文遅れを多迄の倉敷と全利を要する爲殘壹千組限り決算の都合上茶及鼠毛布二枚織一組原綿の直段なる二圓九十五錢で御注文に應ずれば此際至急(ハガキ)にて申込あれ受付順に引換郵便にて發送す多になれば五圓以下では買ぬ品です
東京神田振替口座東京三四六番
東京織物仲繼所

銃 修繕 龍山元町二丁目 玉井銃工場 電話五三八番

ステキな 淋病藥 ▼强力ジゴリンの偉力
男子淋病は有りふれたる疾病なれど利尿力、鎭痛力、殺菌力偉大なる發見での淋病、消淋に特性には實に治効あり胃腸を害せず服藥便は三週二三時間にて奏効して病理的に病菌を抑して反應現る急込む危險なく早治効は一週分らず人に知られず自宅で治療の目的を他の藥で治らぬ病者は直ぐ試みよ
定價 一週一圓廿錢 三週三圓廿錢 當分送料無料前金次第小包郵送す
東京市神田區萬世橋通 振替東京三一八五八番 仁壽堂

公信 株式 勸業 債券 現物賣買 京城吉野町二丁目九十五 古閑商店 電話三十番

秋の胃病
此時候の變り目に注意せねばならぬ事は氣候の變換甚しく又食慾の進む頃ゆゑ、夏の間に胃の弱つて居る處へ、暴飲過食をなして終に胃腸に病を起し或は赤痢チビス杯を起す事があるからハテ胃の工合が悪いと氣が付かれた時は、ソレ五大重寶の合躰製藥『胃活』を直ぐに

胃病良藥 胃活
定價(胃活)一週 二十錢、二週 四十五錢、五十錢、一圓
請賣全國海外要所の藥店にあり
本舖 東京・大阪 山田安民藥房

ドクトル 中村齒科醫院
病氣休業の處全快致從前の通り診療に從事す
明治町佛蘭西教會坂下(黄金町入口) 電話一五八三番
分院 黄金町二丁目郵便所隣 (電話一八九番)

白さの異ふ點に於て新發見の
他に類がなくリノリピノとの優れて好い
ホーカー白粉
東京中の白粉の投票に當選第一等を得ました
●自然らしい白さにつく
●ノリノビが一等好い
●肌の營養劑を含む
●ツヤカが強く化粧崩れがしない
●洗つた後まで白くなる
●肌アンヒヤケを防ぐ
●匂ひ豐かに艶麗さを増す
定價 一瓶 二十五錢
送料 内地無料 滿鮮 十錢
最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖へ御注文下さい
本舖 東京神田和泉町 堀越嘉太郎商店 電話神田(特長)三四二二・長四二・一五六

新荷著
懷中時計
機械堅牢精確長針の能く貴く信用を博しつゝあり
自轉車、時計、蓄音器、ミシン機械、洋酒各國直輸入商
本店 京城本町二丁目 イングレツシー商會 電話九七二番

皆樣は 東京美容院
朝鮮初渡來

新藥 驅梅一號
身家を亡ぼし子孫を亡ぼす 恐るべき梅毒
梅毒藥 中西胃吉

六分利附第三回東洋拓殖債券募集

今回東洋拓殖株式會社第三回債券發行ニ付兩行ニ於テ引受募集致候間左記各項御承知ノ上兩行本支店出張所(但在外店ヲ除ク)又ハ取扱店ヘ御申込被下度候也

一、募集總額 壹千萬圓
一、利率 年六分
一、發行價格 額面百圓ニ付 九拾八圓
一、債券ノ金額 壹百圓五百圓及壹千圓ノ三種トシ無記名式利札附トス
一、償還ノ方法及期限 發行ノ日ヨリ參ケ年間据置キ爾後拾ケ年間毎年五拾萬圓以上百五拾萬圓以下ノ範圍ニ於テ抽籤ヲ以テ償還ス
一、利子支拂方法 毎年六月壹日及十二月一日ノ貳回ニ前六ケ月分ヲ利札引換ニ支拂フ、但シ發行及償還ノ際六ケ月ニ滿タザル場合ハ月割、壹ケ月ニ滿タザル場合ハ日割ヲ以テ計算シ拂込ノ翌日ヨリ償還當日マデ利子ヲ附スルモノトス
一、元利支拂場所 兩行本支店 但在外店ヲ除ク
一、申込期間 九月廿五日限 但シ都合ニヨリ期限前ニ締切ルコトアル可シ
一、申込證據金 額面百圓ニ付 參圓
一、募入方法 申込ノ早キモノヨリ募入シ其順序不明ノモノハ適宜募入ヲ定ム
一、拂込期限 十月二十五日

大正六年九月

引受銀行 株式會社 臺灣銀行 朝鮮銀行

取扱店
東京 株式會社 小池銀行
同 山一合資會社
同 合名會社 福島商會
同 合資會社 紅葉屋商會
大阪 株式會社 藤本ビルブローカー銀行
同 株式會社 増田ビルブローカー銀行
同 濱崎健吉商店
京都 曾野作太郎商店
名古屋 村瀬周輔商店
四日市 名坂彌作商店
名古屋 後藤新十郎商店
同 愛知信託株式會社
同 木村又三郎商店

●滿蒙の平和保障 ▲彼の輯安事件に於ける支…近來支那の官民有志者間に於て排日熱…商、賈商等が或は銃殺され或は毆打され或は又金圓を强奪さるゝ等…に於ける我が平和的經濟的施設は常に迫害せられ侵害せられ邦人は到底…來我國の輿論が日支親善にあることを知り此際多少の横暴をなすも日本は…蒙の馬賊や支那官憲の亂暴や無智なる暴民の蠻行に對しては斷乎たる威…すべきものなれば此際中村新都督が斷乎たる處置に出でんことは一般の…彼等を救濟する一手段なり殊に滿蒙の平和維持は我國の双肩に懸る責任…